

EL «ARGENTIN DUJO»

PERIODICO SEMANAL EN JAPONES

Redacción: USPALLATA 981

AÑO X

U.T. 25 B. Orden 7051

Nº 448

亞爾然丁時報

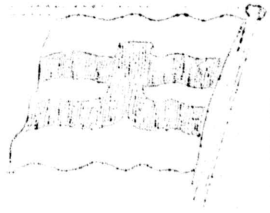
昭和八年一月元旦

新年號

NUMERO EXTRAORDINARIO
1 DE ENERO DE 1933

36
10

正



賀

一年の計は
元旦に在り

今年は是非一度

懐しい母國を

御訪問なさいませ。

是非として御帰朝には

是非

皆様の大阪商船を

御利用下さい。

日亞兩國を繋ぐ

唯一の直通定期航路

毎月二回日本行定期出帆

◎ パナマ運河北米經由(世界一周線)

ふえのすあいのす丸りおでじやねう丸

さくとま丸らふりた丸もんでびでお丸

の優秀チーセル客船五隻就航。

◎ 南東阿弗利加經由(折返線)

あかり丸あらび丸ありそ丸まにら丸

はわい丸の一萬噸級大型汽船五隻就航。



大阪商船株式會社

ブエノスアイレス支店

O.S.K. LINE

CANGALLO 462 B.S.A.S. U.T. 33 Av. 1051-52

謹賀新年
 S. YAMADA Y CIA
 IMPORTADORES

MORENO
 2037

山

田

U.T. 47 CUYO
 4354, 4405.

商

BUENOS

會

AIRES

EL "TOKIO"
 GRAN TINTORERIA
 DE ADOLFO K. OTSUBO

CASA MATRIZ
 RIVADAVIA 5202
 U.T. 60 CABALLITO 4738

大
 坪
 喜
 義

元
 旦

加
 賀
 正

SUCURSAL
 ACOYTE 60
 U.T. 60 CABALLITO 4738

BUENOS

AIRES

新年

謹賀



東京珈琲店

CAFE TOKIO
DE

Kaihara Honos.

貝原兄弟

FABRICA Y
ESCRITRIO
HUMBERTO 10
2013
U.T. 23 B. Orden 2243

SUCURSAL "A"
LAVALLE 1388
U.T. Mayo 6354
SUCURSAL "B"
BOS MITRE 349
U.T. Avenida 0153

謹賀新年



船舶御用商

大阪商船
會社指定
三等乗船切符仲次所

木林川塩澤商店

Paseo Colon 470
U.T. Avenida 4171

大阪商船會社船客御送迎に就いては懇切迅速
に御便宜御取計ひ申すべく候間、御遠慮なく右記
へ御用命被下度候。
日本行き三等乗客乗船切符仲次人に指定せられ
候に就ては乗船万端、精々御便宜御取計申上候
間、精々御利用相蒙度候。

KATSUDA Y Cia

IMPORTADORES

會 商 田 勝

MEXICO 1474, U.T. 38 MAYO 2313

謹
賀
新
年

昭和八年正月元旦

BAZAR JAPONES

DE

IRIZUKI Y USUI

RIOJA 1956

BUENOS AIRES

白 入
井 月
知 武
則 武

加
賀
正

正
月
元
旦

1933 FELIZ AÑO NUEVO 1933

"AU PETIT DUC"

SASTRERIA DE MEDIDA FINA

(ATENDIDA POR SUS PROPIOS DUEÑOS)

NUMEROSOS CLIENTES JAPONESES SE VISTEN EN NUESTRA CASA

CAMARA Y CALVO

SARMIENTO 1073

U.T. 35 LIBERTAD 1279

ウ
フ
テ
イ
デ
ウ
ク
洋
服
店
高
等

CAFE JAPONES

D E

JUSTO FUJITA
CHIVILCOY, F.C.O.

藤
田
友
八

カ
フ
エ
ハ
ホ
ネ
ス
チ
ビ
ル
コ
イ
市

加
賀
正

CAFE THE JAPAN

GENERAL HORNS 16

U.T. 23 B.Orden 4540

及
川
晋
治

サ
ジ
ヤ
パ
ン
カ
フ
エ
ヘ
ネ
ル
オ
ル
ス
街
六
ブ
エ
ス
イ
ス
市

元
旦

加
賀
正

CAFE, RESTAURANT Y BILLARES

JAPONES

DE HIGA Y CIA
CORRIENTES

儀
部
碩
栄
比
嘉
徳
次
郎

ハ
ホ
ネ
ス
カ
フ
エ
イ
レ
ス
ト
ラ
ン

正
月
元
旦

加
賀
正

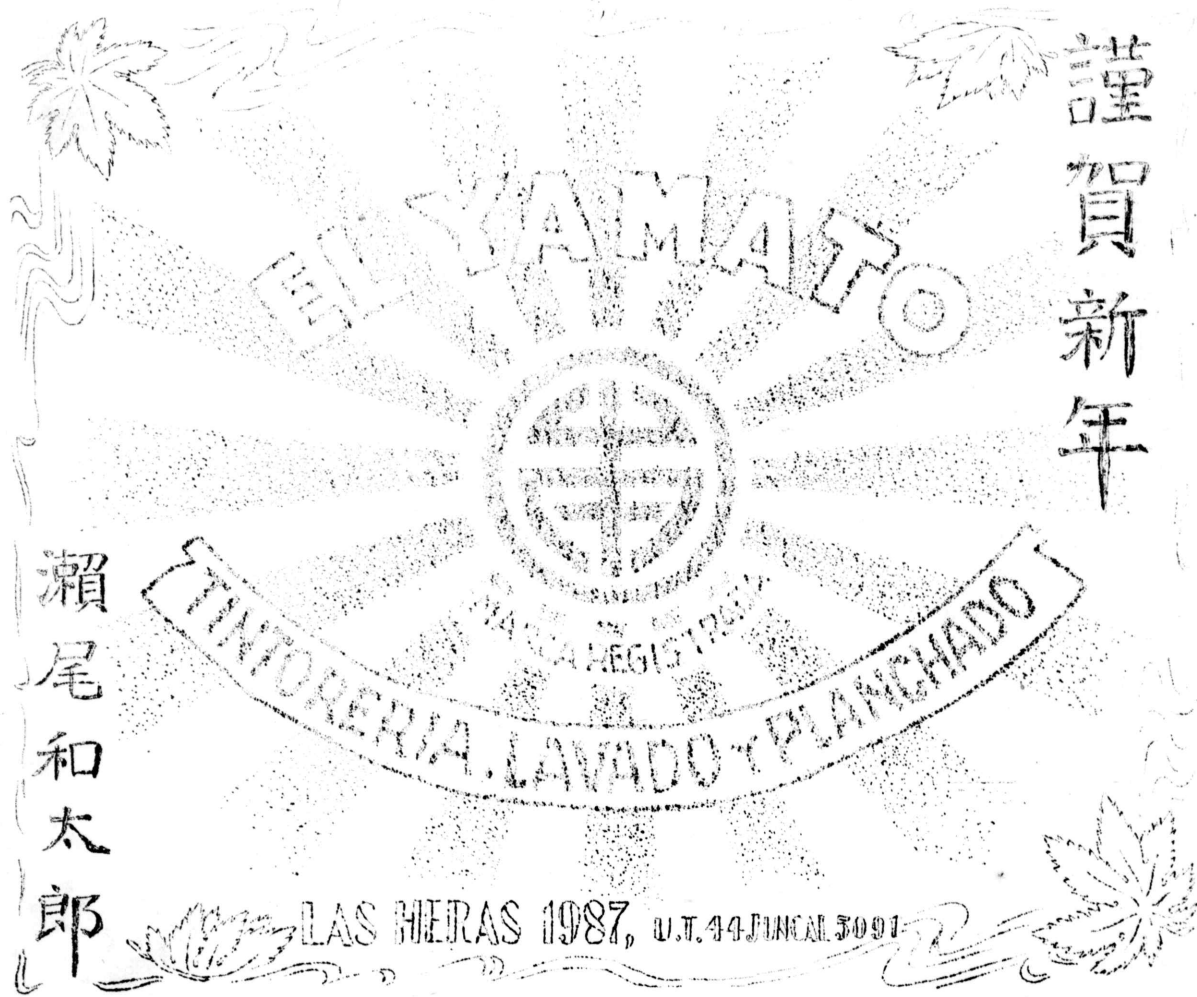
S. TSUJI

謹賀
新光

辻
商店

昭和八年元旦

BALCARCE 682
U.T. 33 Av. 5744



謹賀新年

瀨尾和太郎

LAS HERAS 1987, U.T. 44 JINCAL 3091

CAFE JAPON

DE J. TAKEUCHI

CASA MATRIZ
SAN MARTIN 658

SUCURSAL N° 1
CAFE Y BILLARES
"LOS JAPONESES"
SAN MARTIN 988

SUCURSAL N° 2
BARY CAFE
"IMPERIO"
COROGBA 1184

竹内重吉

白サリ才市
カフエハホシ

正月元旦

賀正

ROSARIO

F.C.C.A.

CAFE "EL KIOTO"

DE J. YOSHIDA HIJOS

25 DE MAYO 222
U.T. 33 Avenida 7180

吉田一月

吉田繁

カフエエル京都

昭和八年元旦

度

御芽出

新年

BUENOS

AIRES

TINTORERIA "SATUMA"

(CASA MATRIZ)

DE M.T. TURU Y H^{no}

CALLAO 1325

U.T. 41 Plaza 2097

謹

賀

新

年

水水
流流
庄武
吉一

TINTORERIA "EL MACON"

(SUCURSAL)

SANTA FE 2758

U.T. 41 Plaza 3934

B. AIRES

RESTAURANT CANTON

AUTENTICA COCINA CHINA

TODO GASTRONOMO DEBE VISITAR NUESTRA CASA

支那料理

廣東樓

食味王国

元旦

賀正

LAVALLE 1525, U.T. 38 MAYO 2242

CAFE JAPONES

- D E -

K. UCHINO

LAS HERAS 667. TUCUMAN

賀 新 年 謹
元 正 年 八 和 昭
旦

内 野 清

カフエー
ハポネス

ツクマン市
ラス・エラス街 六六七

SADAO HATTORI

IMPORTADOR

ESPECIALIDAD EN ARTICULOS DE
CEPILLERIA



FELIZ AÑO NUEVO

~ 1933 ~

賀正
正月元旦

服部定雄

市内リニエルス街 六四九番
電話 四五(ロリア) 三二八番

LINIERS 649-B^s A^s - U.T. 45LORIA3218

亜尔然丁時報

年頭の辞に代へて

昭和八年即ち一九三三年の元旦を迎へ萬物新なるを覚える。本紙は十年の馬齢を重ねて讀者諸士と相見あはけ愉快

亜に堪へざる所である。年改まれば心も改まらなければふりぬ。新年は更生の時機

報時丁然尔亜に堪へざる所である。年改まれば心も改まらなければふりぬ。新年は更生の時機

然して満洲問題が我が日本が東洋の盟主として立つや否やの重大なる生命線である

るから六千萬の国民一九三三年の元旦この困難を打開せんとする

脱し得べしと断言し能はざる状態にあるのである。

また例へこの危機を突破し問題は我が國に都合よく解決せ

りる。に望むるに於て日本は決して安心の出来る境地に入つた

のではない。却つてその境こそ東洋盟主としていよく本舞台

に乗り出すものであり責任益々加はり更に二層の努力を要

する時期に入るのである。何れにしても今後益々多端なりんとする邦家の情勢を顧み

ては居られぬのである。由來日本人は感激性に富み非常時に際して偉大なる精神

を發揮する長所を有してゐるが、熱し易き反面には忽ち冷め

易く忍耐に乏しい缺點あるを免れない。故に吾人は事に

臨んでネバリ強い不屈不撓なる精神を養つて行く平素の心

掛が肝要である。世界各國人の在任する亞國

社会に在る吾々は日常改米各國の人種と接觸してゐるが故に

彼等の長所を學ぶに最も都合よくわけてある。独乙人、伊太利

人の勤勉努力、英國人の質実堅固、佛蘭西人の外柔内剛の特性等々、吾等日本人は彼等より學ぶ可き多くのものがある。

目次

年頭の辞に代へて 二頁
海運雑話 四頁
死活の境に立つ我日本 六頁
世相さま 七頁
亞國に対する日本植民の相対性關係 七頁
漫筆 十頁
一人で歩め自分の魂のために 十一頁
活きたマネキン 十二頁
故郷を想ふ 十四頁
昭和八年の運勢 十六頁
詩歌 十八頁
タンゴ「ゴサリ」の唄 十九頁
コリエステスと私 廿頁
亞細亞は自らによりて救はれるか? 廿二頁
ニユーズ 廿五頁
雜報其他 廿九-三頁

海運雜話

大阪商船株式会社
フエノス・アイレス支店長
家坂喜

吾国産業中の産業である海運は、兎町、崎谷町、北浜等に負けた水商買で森羅万象凡々が敏感に影響する商買で且つ堅実味を持つてゐる國際的なビジネスである。

吾国産業中の産業である海運

世界經濟不況の惨風は世界海運界を吹きまくり、とくに底につき落し船腹過剩、関税障壁増築、荷動激減、船客往來減少等々、この材料数重奏の狂奔であるが、此儘推移すれば世界海運界は総破産の憂目を見る筈なれども、沈み切りにならぬ処に海運の強味があり、好況への轉換も尙配が早い。

悪化に悪化を重ね窮状に陥り、日本海運界も亦多事多難に呻吟し不況に明け暮る。祖國業界では年毎に「春來りなば、来年は」と好轉をのみ祈り念じたり、と世界關稅壁はいやが上にも高められ、爲替管理といふ鳴物入りで頭重状態を続け、また一方には船舶素價改善補助をきつかけ、同爲替で躍り出し、遠洋採算好轉し、自然小中型船々腹拂底となり、近海全般的に好調を呈し、備船料を引締り、日本海運界が露ひ初めたといふ嬉しい便りがある。即ち不況の裏にも一縷の生氣があるといふ現象は海運の持つスベシヤリチーではなからうか。

昭和八年の日本海運觀は、各國關稅競争休止、國際的提携協調強化、爲替管理緩和、船舶調節等が実現せられれば、反控的好轉は困難なるべしと謂ふのが穩當なうんが、うすうすながらも業界に春色見へ初め好轉氣配もある事故悲觀不景氣觀のみ続けるのは當らぬと考へられる。

海運立国は列國の國是で世界の風潮である。日本海運のナヒとなく消極的態度を保持して躊躇遠慮するのは禁物である。殊に世界に燦然と輝く帝國海軍を持つ大日本帝國、海國日本である。滿洲問題では拳國一致して國際聯盟で世界列強を動かして、東洋平和のため、ジュネーブの檣舞台へ正義の大旗を掲げて堂々たる陣營を張り帝國の意氣と覚悟を示しつ、ある秋である。老齡なれども世界才三位の海運業界に携る吾々のみ独り意氣銷沈し得べけんやである。必死の覚悟を以て不況束切りに邁進し、火の如く競争激甚する列強海運に落伍せず、セブンレースの隅々まで日章旗をひるがへして平和戦争場裡に連撃し精々たくましくインビザブルトレードの主要役目をも果さねばならぬと信ずるのである。

日本海運は所有船数は於て世界才三位だが、船齡順位才六、七位といふ貧弱さであるから名実共に改善し、いざと云つたりお国のためにも備へざるべからず、且つ近き將來に「世界的老齡船國日本」の不名誉も拭はざるべからざる故、船舶素質改善案が船舶業者、造船業者に強調せられ遂に當局の容るる

第 四 百 四 十 八 号
日本財界も十年以来の不況続きでいよいよ底なし不況に沈淪し

謹賀新年

癸酉元旦

大山綱國

謹賀新年

癸酉元旦

瀧波文平

謹賀新年

癸酉元旦

伊藤賢三

謹賀新年

癸酉元旦

大貫朝治

死活の境に立つ我日本

片山不老

昭和八年一月一日

今や満洲の独立は世界の一大センセーションを捲き起した。列国数々の巨頭達は壽府に参集し、盟盟の名にかくれ、単法にも彼等の持つ嫉妬は日本を標的に満洲の独立を否定せんとして奸策を弄しつゝあるが、正義人道の爲ならば我権益の擁護と既存條約の確保のためならば向小所敵なしと決死的態度に出た我が松岡代表のために見事一蹴され、哀れにも盟盟の無能と醜態を存分暴露した。幾分か切な近頃は一たび痛快事ではなく何であらう。

日本の選良我が松岡代表の忘却れぬ大腹は威風堂々たる態度とあり、単法極まる彼等盟盟連を感服するに充分であつた。明晰にして機敏なる彼の頭腦は火焔を吐く如き熱辯となり、其言々句々は相手の胸腑をぶつ貫く凄みを持つてゐるのである。其論旨たるや必然性が今独立せしむるに至れるまで説き、盟盟の言論邪説を一一と衝き若し不幸にして我が主張を認容せし日本刀の切れ味を御覧に供すべく敢て躊躇するものではないと大見えを切つた所、流石の聯盟として顔色なからしめ、其

非を悟らしめ軟化する傾向を示すに至つた。常に軟弱外交の非難多き我外交史に未だ曾て見ざる異彩を放つた。吾人の記憶に新ふる幣原軟弱外交のそれに比す可くもはく惨たる失敗を回復して余りあるのである。

国際聯盟の大舞台に立つて従来日本の軟弱外交は飽きわづらしたのだ、いざ録倉となれば此の意氣、此の決意ありと示した我が松岡代表の勇は日本帝国の面目と國威を保持するに十分であり、その功績たるや更に素晴らしく偉大なるものである。吾人は帝國のために大和民族のために大松岡代表の功に對し赤心をさけ出して感謝の意を表さなければならぬ。

然し下り吾人は今日聯盟の軟化せる態度を以て断じて樂觀は許される可きでない。それは人口問題の難解である。現に十八億に余る莫大なる人口は既に過剰にして世界各國は之が理想的な調節策、即ち人間の捌き口を如何にして解決すべきか、之が對策に悩まされ、憂心を以てゐるのである。素晴らしき勢を以て増し行く人口は吾人最大の恐憐である。限りある地

球の支持し得る人口は五十二億だと云ふ。此の數に到達した時は最早地球上何物をも余す所なく今にして行詰まりを叫びつゝある吾人人類が世界最後の行詰りを想する時吾人は戦慄せざるを得ないのである。

現今迄の人口増加の率より計算するならば世界最後の行詰りの時期は僅少百年にして来るであろう。然るに地球上に生存する有色、白色二種の存在は人口調節解決に非ざるは障害として横つてゐる。即ち國家的偏見となり人種の偏見となり自國民最大數の増加を望みこすれ、他國民の増加を嫌ひ其衰亡を希望してゐる事は、何人も否定する事の出ない事實である。イタリヤ人の影張はイタリヤ人をして他に膨張する權利を有すと、今や時々の世界的傑人ムソリーニは大言壯語をしてゐるではないか。高きより低きに流れるは余りにも明白な原理である。稠密なる人口が稀薄なる地帯に流れ行くは是れ自然の勢いと云はなければならぬ。流れ出さざる人口は國境にさへ切られ、國境に堰かれ、砲台に背かされ、衝突となり爆発となり、遂に人口調節策、即ち人口捌法最後の手段として戦端が開かれるであらう。世界人悉く理想の文化人として入

種の偏見より脱し、國家的偏見も打ち直しに能く國際的觀念を保持するに至つた時に於てのみ始めて世界の平和があり得るのである。國家的人種の偏見の存在する以上断じて平和は望むべくもなく、未可き未来には恐るべき人種的大戦争に於て絶てが清算される日が来ることを吾人は拒む事が出来ないのである。

國際聯盟の無力は完全に立証された。軍縮會議も何のためやう、御互に腹の探ぐり合ひ位が関の山まことに心細い限りと云はざるを得ない。軍備縮少の養生は各國をして國軍の縮少を余儀なくした。縮少は甚だしき急速度を以て終ゆる科學の全能力を傾注して精銳なる兵器、即ち幾多の殺人器の改造案出に走りしめた。世界的未曾有の大不況に立つ各國は財政困難、青息吐息の中に在りて其當し懸念に全力を注いでゐる。其姿は何を物語つてゐるのか？ 軍縮會議より放送せらるゝ其声を他に聞き流し軍備擴張熱が黙然として上昇しつゝあるその皮肉な珍現象こそ、そも何をか指さすものでありやう？ 今や完全なる國防の必要は各國ともに益々その魚眉の急なるを痛感してゐるのである。世界拳で軍備擴張に傾倒せる時あたかも滿洲の一角に於て起こ

れる砲聲は我權益の擁護と我民族の生命財産保護を目的とした小軍事行動たるに過ぎなかつた。然るに単法なる支那は所謂支那式一流の針小膨大の迷宣傳をなし聯盟に哀願、既存條約の無視を敢てしたのである。聯盟元より火事泥式集團なるが故に奸機遠すべからずと衆りか、つたのである。東洋の覇權を握る大日本帝國、有色人種中の王者たる大和民族を輕視して遠く白人の膝下にも及ばざらんと強り極めをして居た彼等の予想は見事打ち破られ、僅少五十年にして世界強國の列に如はり、文化は正に歐洲のそれを凌駕せんとし、連戰連勝、其武力は世界を以て恐怖せしめた。人口の増加は民族の優秀と繁榮を正証してやまない。一小島國の日本に抱容し切れざる人口はその數八千万を算し、其膨張は、其勢力は更に倍するべからざるものにして世界の一大恐怖である。その恐怖はやがて日本をして世界強國の標的たりしむるに至つたのである。今や滿洲の独立は完全に日本權益を保證せんとし、日本に於ける人口食糧問題を以て先づ當

今緩和す可く充分である。

滿洲國独立後に於ける充実は、益々白色人種の恐怖であり不安であり、彼等勢力の支持と其勢力の擴張を計る必要上切

の障害は悉く之を排撃し不安を昭
昭り除くべく努力せんとするは當然
和でなければならぬ。即ち日本の軍
八事行動を非難し満洲独立を否認
年せんとする所以である。

一 日支関係の浅からざる事情の潛
在を知らずして、苦節幾十年多
一月の財宝と幾万の尊き血を流した
る結果、当然来るべき今日の講話
を無視せる彼等の態度は実に憤慨
に堪へない次第である。

横暴極まりなく傲慢不遜の態
度と愚昧極まる奸策を逞らすに
長けたる我利々々者彼等は又
不事泥根性を遺憾なく働かし、漢
夫の利を得んと機を担ひつゝあるの
である。

丁 想小に聯盟の経過は稍々好轉し
何時かの逆轉を見るや予期し得
られぬのである。よし最後に独立
承認をせしやうとも、満洲國の前途は
遠慮且つ幾多の計るべかりざる
障害が横わりつゝあるのである。

第一 混乱に混亂、無政府状態の打ち統
四 支那を併りにし、満洲國の確立
四 其發展を期するは蓋し莫大の
四 犠牲と不拔の努力を必要とする事
四 論を俟たないものである。亂國の
十 支那、不可解の支那には世界各國
八 の鋭き野心が常に集中されてゐ
号 る。満洲の独立と共に益々深まり

(5) 行く日支の關係は世界の選視を
より鋭くせしめずにおかばい。

満洲の独立は重苦しき暗雲を呼
び起し、其是非は戦火の誘因たり
んとし、低迷しつゝある暗雲こそ
東洋の危機を物語つてゐる。滿
巷く殺人的大不況の中に戦債支
拂問題、人口問題を中心に大波紋
を画き喧々たる其声は血痕今尚
新たるる歐洲の曠野に歐洲の危
機迫り、第二の世界大戦来る
べしと告げてゐるのである。此の世
界的危機に直面し未曾有の難局
に立つ我日本は正しく死活線上に在
るのである。

顧小に我日本の現状は依然とし
て暗くニスリ、政界は国利民福
を基礎としての善政を忘却し、党
政の私利私慾の外眼中何
物も無く買収と疑獄の連鎖劇を
演じ、國民の信望の失墜と不安
を益々深かりしめてゐる。

世界的不況は我經濟界をして
等しくその渦中に捲き込め不安
なる動搖を重ね、徒らに大群の失
業を産出し、その救済策たるや
未だ其當を得たるものあるを聞
かず。悪化する思想は其止まる
所を知らざる状態にある。好況時
代の悪夢を尚ほ醒めやらす、その
余弊の剝産物として浮薄極まる
る分子を多分に産出し、其害毒は
日本全土を染毒するに至つた。勤
儉力行の美徳は何処へやう、朝
氣なく意気なき國民多きを遺憾
とするものである。

内憂外患とは是れ正に日本の現
状である。呼々、政界に經濟界
に思想に外交に等々國家多事多
端の折柄吾人は更に寒心に堪へな
いのである。

困難来る!! 世界を相手に戦
火を交ふる時を想像し、否その
来るべきを我等は予想せなければ
ならぬ。たとへば世界的經濟封
鎖に遭遇しやうとも、孤立無援の
境に踏み張つて最後の一人にふる選
我等は皇國のために、我が民族の
ために必勝を期さなければならぬ。
而して大東洋の平和と民族
の隆盛發展を確立せなければ不
らぬ。それこそ我々日本人の持つ
プライドを蹴飛ばして世界を
トドする其意氣に依つて未來に
於ける世界の大本帝國を現出
せしめねばならぬ。

國家の存せざる隆盛の如何と
は其責任我等青年の双肩にある
のみ、青年の意氣と力はその國
を左右するのである。其意氣を
奮き、其力山を我く、我れも青年
にして初めて隆盛する國家が生れ
るのだ。我等青年の責務は益々
重大である。一大警鐘を打ちし
響かして起たしめ、長き睡眠
より叩き起さなければならぬ。
而して政界の大革新、白く經濟
産業立國の策を挙げ、思想の善
導と向上を針り、益々壯ふる士氣
を鼓舞し以て堅実なる國家の充

實を計りねばならぬ。
世界の危機は正に一本のマッチ能
く砲火の誘因たりとせしめてゐる。國
軍の元氣は益々その重要を促し
てゐる。陸海軍の存在は國防にあ
る。完全なる國防は陸海軍の完
備にあるのだ。軍力の如何は國家
の生命線を左右する。殊に物騒
極まる最近に於ておやである。未
來の戦争は科學と科學とだとい
ふ。優秀なる殺人器の研究と發明
は各國共に懸命である。幸ひ
は各因共に懸命である。幸ひ
は可し、我陸海軍、世界に優るとも
劣らぬ研究と策出ありと聞く吾
人大いに意を強くするものである。
然し乍ら如何に優秀精巧を極
むる兵器も精銳なる兵に依つて
のみその全能力を發揮し、その功果
を現はし得るのである。然らば
精巧なる兵器と相俟つて精銳な
る兵の必要は當然である。

我等日本人は斯くて好戰國民に
非ざるも、戦へば必ず勝つ
戰捷國としての我帝國が且つ他
の悔りを受けたることなく、世界を
して恐れしむるに至つたは何故で
あるか。即ち神の加護を受け正義
のために叙を取る我等には彼等の
解せざる大和魂の存在があるのだ。
最後の一次は、大和魂入りの肉弾が
いつ飛ぶのだ。勝利は期して常
に日本にある。神國の民、我等は
大和魂を持つてゐる。此の大和魂
を清め、此大和魂の手入れを精

下の急務ではなからうか?
今や世界の版圖は我日本に注が
れつゝある。満洲の獨立と共にそ
の統制の重大なる責務を肩負つて
立つ我日本はその發展を期する
と同時に一朝急事に際し正々堂
々善処すべく備へ、自他共に許さ
ざる、世界の覇者たる可く氣概
と勇力を養はなければならぬ。
薄氣味思き暗雲は歐洲の天地を
低迷し東洋の平和は稍々すれば
破られんとしてゐる。正に我日本
は死活線上に立つてゐるのである。
(一三)

賀正
相変らず可愛
かつて下さい。

片山不老
チヤカフコ街 七六四
デバルタメント 第八号

世相さま

仙骨

亡國民の
共通性

愛に亡國民の共
通性とも云はん

「己が物と思へば
かるし笠の雪」
堯舜禹湯以來朝には般を送り夕には周を迎へ新陳代謝殆ど送迎に違なき支那民族は其都度其堵に安んぜず支離滅裂漂浪亡國の民と相成り自然國を愛するもの至つて少なきに至る又復り云ふべし。

或る國王の如きは聖人に同小に治國の道を以てせずして貨殖の法を以てせり。此は實に二千年前の出来事。然かも能く今日の支那上下の國民性を語り居るものにあらずや。嗚呼上下交々利を制して國危しとは誠に支那の現状を指せるものか。然れど余は徒らに慷慨悲憤奇言痛語を好むものにはあらず。寧ろ泰然自若動かざる泰山の如く天下の憂に先立つて憂へ天下の樂みに後れて樂むの所謂「己が物と思へばかるし笠の雪」と覺り我が有爲の青年中より厥然奮つて支那の一民と相成り彼等四億の蒼生の休戚を敢て肩に荷して立つの輩出せん事を希望し居る者輩に當りては滿洲のみならずや、(語に由く虎穴に入らずくば虎兇を得ず諸君奮起せよ)

か、由來猶太民族と支那民族とは概して商業上の智識に機敏に且つ貯蓄に巧みなる事なり。彼等は極端なる利己主義者にして金錢を得んがためには他人の迷惑や如何なる惡徳も顧みずありゆる手段を講ずるなり。

最も金錢程漂浪の民に都合よきものはありし。甲國より乙國へ漂浪し時の政府や官吏より壓迫を受け又ハ鎌倉と云ふ時は土地や家屋は持拂に不便なるも懷中致すか手荷物として持ち逃げも出来れば地獄の沙汰も金次第で何んぞか程よき鳥もつけ得るなり。

唯だ異はるるは同じく亡國の民がも支那人は猶ほ名譽だけ有する自国内にて農業を經營し居るに及し猶太人は孰れの國に於ても農業を經營し居る者之れなき事なり。然れば大戦後世界各國の猶太人の寄附により大英國の保護の許にパレスチン國を建設せしも其當時其地に集まりしものは孰れも素寒貧の言論文章の士のみにして、肝心要めの百性が一人も参加せず議論百出喧々囂々恰も熊蜂の巢を打ち破りし如き状態を呈せしとの事なり。

彼等亡國の士は孰れも言論に巧みに團子理屈を捏ね廻す事には特に長じざるなり。壽府に於ける顧維鈞の瓢箪鮑の辯論は實に好適例にあらずや。

猶太人や支那人相手に議論を致すには決して弱味を見せてはならず。飽迄も頑強に根氣よく縱横自在に論難して少しも假借付きを要す。

支那に於ける「ホイイコト」

十九百七年廣東の蒙商三名の山の神を同伴して桑港に至る時に意地あるき移民官は一大多量の理由の下に無情にも上陸を根絶す。是に於てか蒙商憤然色を失し切齒扼腕嗚呼復々大々的米貨押斥き唱導し以て米國民の神經を刺激せしことありき。不末江戸の敵は長崎とや外國に對して不満を洩すには何ら平の卑劣手段を講ずるなり。

今も昔に異ならず外交上の烟着は多くの場合甲國の大官や勢力ある人々や資本家が乙國に至りし際待遇のあしかりしより生ずる事あり。前陳の如きは其好適例にして米の移民官が今少し寛大の処置を採り蒙商をして二名の妻君同伴の上陸せしめば後難を醸すが如き事け金々あらざりしからべし。

倫敦にて豆腐屋を経営し居りし同胞あり。支那公使館は更に好花容たりしなり。然るに大戰中彼の有名なる加藤高明の二十五條問題の惹起するや不測にも彼の豆腐屋は公使館より「ホイイコト」を受けたり。當時の支那公使顧維鈞とては如何にも違り相違事なり。話せばそれと異れど日露戦争後米國市俄古市に於ける戦敗國の露國領事は家庭に於て他の使用人等と全郵解雇し之に代ふるに戦勝國の日本人を以てせり。

嗚呼前者は少量怨に報ふるに仇を以てし後者は大量怨に報ふるに徳を以てす。觀じ米にればその人格に於て月と露地雲泥の大差ありと云ふべし。

世界の不景氣

戦債と賠償とを減額致すか棒引にせは世界の不景氣は大條に於て平時に復する事は誰も承知の事なれど如何せん米國の債權者は數千萬の人々なり。然れば彼等に於ては採られたる上下兩院議員にせよ大統領にせよ債權者の意志に及して自由の行動は決して取りえぬなり。夫れも彼等が執れし中産階級以上の人々ならば容易に説得し得るも大多數は其日暮しの無智の百性や労働者なり。嗚呼米國政治家の苦心も亦思へ違りのにありや。

賠償金を拂小者は独國政府にして受け取る者は英佛白伊等の諸國政府なり。無論人民は間接その受授者ふるも、北米の債權者のぞれり如く直接に打撃を受けざるなり。然れば賠償金は政府と政府との樽俎折衝によりて容易に解決し得るも戦債は容易に解決し得る者にあらず。

米國の政治家等が債務國の額を容れ戦債棒引きや減額を致さんと欲せば演説や新聞上にて大々的宣傳や手論喚起は無論必要ふるも此際一大宗教家が靈火によりて世界人類愛を稱へ世界の先業者に職をよ「パン」を給ふるは實に戦債棒引きや減額にありと叫ぶ事なり。由來米國民は宗教家の熱辯によりては宗教外に教へ易き動物なり。

戦債と云ふ厄い物は北米の人民が政府の勧誘と保護の下に高價にて物品を聯合國へ掛り賣りしこと代償なり。合計百二十億弗余然れば人民の承諾なくして勝手に棒引きや減額致す節は米國政府は人民に對してその責を負はざるべからず。

賀正
元旦
内田千尋

亞國に対する日本植民の相対性關係

平川末友

最近滿洲國が独立した結果滿洲植民問題が如く日本國內を席捲し刺さへブラジル移民にも油が注がれて其の余勢が當國迄も及ばんとしゝるの事だ、而して斯る情勢は官僚筋の報告とお化け宣傳筋によつて馴致されたもの、如くである。茲で吾輩はブラジルや滿洲に就て言ふのではない、唯當國はその国情から見て、農業組織は如何なる果して日本植民に余地を与へるや否やを検討して見、而して大方の参考資料たりしめ度いと感ふのみである。

一 亞國の農業と植民の可否

當國の農産生産上最も多額の生産費を要するものは人件費である。故に當國の農業者は此の人件費を節約せんがため、多大の苦心を重ねて居るがその一策として進歩せる農具を使用し此の農具の使用費、即ち作業工程を大層なして人件費の減少を計つて居るのである。此の作業工程を大層なして居るためには当然大農具を使用すると云ふ

事になり而して大農具を使用すると云ふ事は大面積を耕種するに非ずしては歸着する。同時に大面積の耕種は粗放農業、即ち粗放的労働農業とならざるべからざる。然るに此は亞國農業の實際を知るとする者の忘るべからざる事であり斯くして人件費節約の結果は生産費の削減となり、純益の歩合を増大せしむる所以と云ふ。従つて當國農業は是等の農具を操縦する人員以外に人手を要せぬと云ふ事を意味するに至る。斯の如き農業組織を有する國は耕種面積の拡大に及し人口の極めて稀薄なるは争はれぬ。極めて稀薄な人口密度が之れを當國農牧地帯の人口密度が之れを明証して居る。されど多くの植民論者はこの人口密度の稀薄を以て、方に植民の余地ありと断ずるものがあるが、大は當國の農業を知らざるもの、言で一種の架空的思索に過ぎぬ。何と云へば當國の農業は純然たる氣象農業であり、加ふるに投機事業の特性を備へてゐるか、其の生産組織は如何なる場合に

ありても大量生産を目的として耕種業の組織を決定せねば最後の目的は達する事が出来なむ状態に於かれてゐるからである。故に當國の農業は経営學上より觀ても最も危険性を有する組織の下に構成されて居ると共に最も暴利的な組織の下に經營されてゐると言はねばならぬ。斯る土地に植民の如き集約的で且つ多角農業に非ざるれば成立要素なき機能をも有する事業が成立する筈が、飽く迄も營利的に設計するたの農業労働者を最低限度に節約して尙大規模の農業要素の結合せらるるが當國の農業の特性であるからである。夫れは農産物の消費關係より未だ問題であつて國內消費より國外消費に生産の目的が置かれて居るから、單式農業の継続は止むを得ぬ經濟上の問題であり加ふるに農業の基礎を成す土地の地價が余りに高價で此の地價を以てしても農業植民の余地なしと言はざるを得ぬのである。それは既に開拓し盡された土地だからである。斯かる土地に集約的農業に慣れた農具を使用したる事は、入植者を移植せんとする植民事業が適すや否やは言はずと判つた話である。併し、ふかり此の眩漠たる平原を背景として絶対的植民地の余地なしと吾

輩は言ふのではない。入植の余地は主として南北直轄州内に見出されるが、現在日本に宣傳されて居るものに北部直轄地の一地方であるチヤイコの一部と、ミシヨイネスの一部とがある。それは當國の全平原より眺むる時は九牛の一毛に過ぎぬのであるけれども日本では相當喧傳され且つ地上の樂園とと稱されてゐるのであるからその地域に關し吾輩は飾りなき所見を述べると共に將來の日本人植民事業に對しても聊か言及したのである。

二 チヤイコに於ける官僚的植民

植民事業が農業と離るべからざる關係にあるは何人も了解する處であらう。故に植民地は如何なる場合如何なる條件を以てして農業の基礎をなす土地を度外視して云々する事は出来ぬ。同時に植民の要諦は植民を容れ開拓せんとする土地が植民の生活の安定を期し得る農業組織が構成され得る土地であるか否かに依つて其の適否は自から決せらるゝのである。

されど多數論者又は企業家は此の要諦を架空的に解して單に利益の有無のみを以て常とするのである。殊に前商務官石井忠吉氏のチヤイコに關する宣傳要旨と計圖が其の代表的もので、自分は是れ

謹賀新年

一月一日

相部善次郎

謹賀新年

一月一日

長嶺直哉

を官僚的植民と呼んでゐる。先づ石井氏の宣傳書や計画を見れば、昭和二年々利益が計上され居るに拘り、現在の人殖者の營業状態は全く及前に企業資金を一年々借金せぬは事業継続出来ぬ有様である。即ち、損増の増加を数字上加算する斗りで、今や轉地さへ出来ぬ程窮迫の極にあるものさへあり。然りば、何か故に斯る状態に陥つたかと云ふに、その原因は就て未だ何等發表されて居らぬのみか、却つて何等の損失を暴露せしむる事のみ聽くは何か故に然るかの吾人の了解に苦しむ如である。此れ官僚的植民の本領で日本の植民事業に是れ程大なる障害を予へるものではないと言はねばならぬ。現在石井氏の説明によれば、チヤコ入植者の不振は單に棉花不況に因つてと云ふ間接原因以外何物も發表し能はざる有様であるが、實際の処石井氏に此の同接原因以外に發表し得ないのが當然であらう。即ち、彼は植民に対する理解も無ければ經營する技能もないからである。それは彼れが現在の行為に照しても明らかなるが如く、官有植民地に於ける入植者の現況も日置拓植会社の官營植民の分散も直接原因を正せば彼の社撰なる人格の暴露であること云々の外他に適言がないからである。それから

チヤコ官有地入植者の不振に対する直接原因を指摘すれば、各入植者が入植當時既に各自缺陷を有してゐた。それは石井氏の甘言に迷ひ暴利を得んがための入植であり、多くは農業に對する経験さへ無かつた人々であつたから復等の代表指導者であつた横道君の企業方針のついでつたのり抑も大なる禍因を致したものである。即ち指導者に適任者を得ず、加ふるに入植者に缺陷ありと云ふ有様であつたから、植民の本業が樹立さるゝ管がはく、所謂の投機的植民の一團であつたと云ふのが至當である。何んか云ふれば、植民とは利益を欲せんとする前に自治の安定を計るに在り、と云ふ小事に無關心であり、其の必要は、と單に投機的に暴利を得る事か、明らかだ証明されて入植であつたから、自給自足の云々信條は彼等入植者は勿論、宣傳屋石井君にこそ厄介物扱ひされてゐたのだから、当初より破壊的行為で、今日の窮迫状態は自から起りつゝ、あつたに陥つたのだと云はれても之れを駁する言葉は有せぬであらう。實際彼地の農業は棉作を主体とするにしても、之れに玉蜀黍、馬鈴薯(芋)、甘藷、落花生、蔬菜類(大根、甘藍、葱、南瓜、瓜、水

瓜)等を加へて栽培し、他に養禽と養豚とを結合し、先づ自給の道を樹て、棉花界の動向を見つゝ、之れを増減するの策に出づべきであつた。併するに植民上最も重要なる労働利甲状態に何等の思索をなすは、無理押しに單作のついで、頭したるは益、農家經濟の生産費を高くし、現に現在の如き破壊を現出し、轉地の余儀なき破目に陥り、未だ曾つて土地代さへ要しなかつたチヤコ棉依地も世人の噂より消ゆるに至つたのである。是れ實に單式農業の不健全を証する好例であり、又チヤコ棉依入植者窮迫の直接原因でもあり、官營植民の弊を物語るものである。然りして日拓購入地口「マ・アルタ」の植民地は荒涼の二、三以外何等の條件及び價値も無いが購入地價の余りに高價であつたのと、石井君の日本に於ける宣傳が地上の樂園と云ふ記録を、残して官營植民の弊を世人に証明した以外何も云ふ事つてしまつた。唯だ我が植民政策に大なる障害を築いたのみである。

三、お化宣傳の弊

或る植民不足なき影の人々が唱へて居る植民である。既述せるが如く植民と農業の離るべからざるは農業と土地の離るべからざる関係に在るを以つてした。それと世の人は土地の調査、賣買契約等もあらずして植民地の設計をする者が在る。殊に甚だしきに至つては存在なき土地を現存するが如く宣傳して他に出資を求め、涼しい顔をして、と云ふ者もある。或は限定されたる官有地に無数の植民を入植せしめんとして政府の補助を求め、未だ許可なきに許可ありたるが如く無想定得たるものもある。是等は、お化宣傳植民屋と称し、放任する時は社会に害毒を流すに至るから、これらも當然排撃しなければならぬものである。

殊に帰山氏の如きは、元バルビエホの官有地進出するの基礎を造つたが若し帰山氏にして当初よりエルバマテ單作に没頭されたならば、今日の基礎は築けなかつたであらう。故に植民地としての條件は、自給自足を成し得る農業要素が構成し得る地か否かによつて決定し、その構成は實にその人によつて定まると云ふ事が明かである。茲に於て現在、ミシヨネスの記載者は先駆者の事業成績を見て、植民地も彼地の有望さ口にして、宣傳に熱中して居るか自分分は先駆者の勞苦を偲び、彼地の宣傳は遊戯に亘り、ざらく事を希望するものである。

されど多くの旅行者や觀察者は、何れにミシヨネスが日本の植民地と云ふ適するやに關しては未だ秩序ある發表を行してゐない。何れも空漠たる宣傳のための宣傳に過ぎぬ。而して是等の記載者にして誰一人入植し、植民としての責任を究ふしてゐるものも無く、他人の勞苦を横取りして宣傳するに過ぎぬのであるから、幽霊植民地などの發生するも無理からぬ現象である。茲に於いて若し新生活會等にして眞にミシヨネスの開拓を成さんとする意思ありば、宜しく万金を投じて、彼地の一地区を購入し、其の地に

昭人として價値ありや否やを自ら試
和し以つて眞のミノエスの宣傳を
八すべきである。若し軍に官有地の
地を唯一の好餌として云々するあり
一。夫は實に南柯一夢にして朝
露と消ゆるが如き運命を辿る位
が其の末路である。況んや國家非
常時局に際し國庫の補助を唯一の
頼みとして宣傳するか如きは吾
人の株のさる所であり、先年施行せ
られたる日蓮植の官營移民百餘
並。聖移民だけで飽きくした現在
爾。うである。されば新生活としては
爾。の際植地としてか條件に適合
したる土地を購し拓入としての
丁。眞面目な思想を以つて植民地の
開拓をするだけの心掛を有つたが先
報時。問題で宣傳に浮身をやつす日
ではない。若し斯く日來りはその
發表を新々を許せられども現在の
如く何等の根據なき土地におも
お化け角力を演ずるは心あるも
のさして薄高たらしむるに過ぎ
ふいから斯る宣傳は茲に排除す
るものである。

四。水耕移民説に就いて
水耕移民とは水依移民の事であ
る。此の説は在留邦人同の噂にも上
つてあるが、日本では相当宣傳さ
れ又計画されて居るらしい。その
計画者の何人たるを問はず吾人
は之を等閑視する事は出来ぬ。
抑も水耕移民の計画は当國內に
於いて消費する米穀の自給自足を
計らうが爲め米依に慣れたる日本
人を移民として容れ「デルタ」又は
「シ」地帯に土地を劃して水耕し
其の生産物たる米を當國人の消
費用たりしめんとするにあらうし、
此の計画は當國人の嗜好及國情
は農業を知らざる者にこそりては天
晴れ思ひ付きとして称賛する、で
あらうか一度の當國の土の臭ひを
嗅ぎたる者ならばその杜撰なるに
驚くであらう。

實際當國に於ける米穀の消費は
その大部分を海外の生産國殊に隣
邦「ラヂル」國に仰いで居るから當
國消費米は輸入品である。茲に於
いて此の輸入を阻止し國庫の需を
充たさんとすには國內の或る好適地
に於いて水耕し以つて輸入品に対抗
するの品質と價格を有する米穀
を生産せねばならぬ。されど「ラヂル」
むらしくは當國內にその好適地の存在
せざるを如何ともする事が出来ぬ。
先づ當國內に於ける米穀生産
地は「ラヂル」國の一部が好適地と
され、現在水耕されつゝあるがその水
耕面積は年々減じ収量亦面白か
らず再三政府に對し補助を申告
して居るを見れば當國に於ける米
穀生産組織は他の耕種組織に比
し必ず不合理なる缺陷ありと云
はざるを得ぬ。夫れ「ラヂル」國に於
ける米依は記録の示す如く長年の
経験を経て栽培され、地質も石灰
質の稍、不足するに止まり三要素の
結合も大體に於いて飽和状態に在
り灌漑は流水法を以て夕刻より
晴露時の地熱冷却期に行はれて
ゐるが、その平均生産高は一町歩
当り二噸以下であつて、「ラヂル」國
の該法生産高三噸に比し一噸以下の
減収であるから、生産高に於いて
既に經濟上の不利を示して居る。
尚ほ生産費の關係に於ては自依農
を中心として白米「一」噸当り廿六
圓に當り生産費僅か輸入品に比し
て高價であるから「ラヂル」地方の消
費用たるに過ぎぬ有様で全國
民の消費量に於けるには至ら
ぬ。此の生産費は水耕土地改良
費に莫大なる資本の投せられた
結果によりたるもので、他の耕種依
物生産上見られる現象である。今
や「ラヂル」國に要するものは
果して當國に米依の適するが不
かを知る唯一の指針となるものでは
ないか。斯る「ラヂル」國を以つて
「デルタ」や「シ」地帯に米依が出来る
か否かは自明なり。計画者
者の目論見で一キロ当り十五仙以下
の生産原價を以て計画する時「ラヂル」
に於ける米依の生産原價は當町二七五
高として最少限度四十七仙七厘と
計画せねばならぬ。然るに現在「ラヂル」
ラヂル其他より輸入する米穀は
小賣相場當町廿五仙及至六十仙
位で平均四十五仙となるが此の内
當町十五仙輸入税が課せられてお
るから此の裏を考慮して然る後
水耕作物の適するや否やを考究せ
ねばならぬ。況んや水耕移民に於
いておやである。此の移民計画者
は拓務省囑託内田千尋君との事
であり支援者が山崎公使との事
であるかその実否は知らず、唯だ
計画者の誰人か、彼等は「湖
南」の「福湖北」の「祝融」なる古語を玩
味して欲しいのである。内田君は職
掌柄最少「聖國農業組織」との裏の
意味を知る必要がある。此の當國の現状
は僅に残濟的農業のみにして「ラヂル」
に植民の余地が全く日本移民時代を
過ぎ去つた感なき能はざる當節
ある事の認識を確せざるは望ま
しからぬ。昨今當國に在りては
農務省令を以て移民制限する、あ
り、故國は内外多端の重大時に直
面して困難を唱へる時、幽靈、宣
傳移民や尻の様な計畫を排除
し茲に謹んで摘算する。

漫筆

(山) 不老生

昭和八年一月一日

明まして御芽出度うと云ふ正月
か亦来た。亦一ツ年が増へたのだ。
つまり墓場に歩み寄つてゐる事
にふる。喰ひや喰ひはすにふる。僕等
でも何故か早く死にたくない。人生
は苦の連続だ。樂みなどはない。か
く少い。然も死に向かつて行進を
続けたい理想の計画の云々云々
其実現に努力してゐる。云々云々
見ると生くるも云々云々云々云々
あらうとも價値のあるものには違
ひない。そこで人情の常は一日で
も長生をしたがる。吾等は仕方な
しにこの世に生れ出て仕方なしに生
きてゐるのではない。大いに爲さな
ため働かなくてはならぬ。人生である苦
だ。云々云々事を考へる時正月を迎
かへる度びに花い行く先を短か
く嘆息を洩らしたり死んで
老へることは野暮だ。年々新まる
毎に更新の意気を生を續く限
り懸命努力することだ。

だと思つて今の不況を基準にして
根限り働くのだ。此れが己の不況
打開策。

然

丁時報

第

第

「貧乏はつらきものなかりけり。金
の無い事は確かに吾人をして不便
を感じしむる。甚大吾輩常に痛
感する一人である。貧乏は氣樂い
ものなかりけり。清貧に安んじ自
適悠々たる生活こそ吾等貧乏人に
手へられたる唯一の慰安法であ
り特權だ。それは貧乏人の敗けお
し。地獄の里も金次第。男爵も
金で買へる世の中だ。よとブルはめ
かじやがる。己だつて好きで貧乏
を買つたのぢやないか。今に見てあ
らう。渡る世間に息はなし。然かり。
人を見れば泥棒と思へ。然かり。紙
よりも紗の絹よりも薄い人情の世
の中に地獄で佛に逢ふ様な事はあ
いではない。但し曉天の星より少い
と心得たい。鬼の居ない娑婆だと
甘く見ることには依頼主義は大
禁物。泥棒根性の人間、余りに多
きを如何にせよ。周到なる注意こそ
肝要だ。信じてこそ信ぜらる
べき知らねばならぬ。前者は良き
世相の反面、後者は悪き世相の反面
だ。吾人は世相の表裏両面を悉極
に知らねばならぬ。

「吾人は世相の表裏両面を悉極
に知らねばならぬ。江戶兒のあにちやく威張つてやが
る。今日あつて明日の命加わら
ぬ人の身だ。どうせ長官には夢に
もはれさうもない。めんご臭いや
やつちまへと云ふ所なのだらう。
一寸先は暗だ。明日の命はわら
ぬと云ふ。成程さうかも知れぬ。先
きの事かわかつてたまるものか。千
里眼やあるまいし。未来わか
かつてぬら誰か馬鹿らしい苦勞
をする者があつても。わか
らぬ所に人生があり面白がるのだ。
いづらうめ先きの取越し苦勞を
したり計画も約束も此の世にあり
得ないのだ。然しては息のある同
約束であり。計画はなげけはな
らぬのだ。それでたかした。死
んでから先の約束などべう棒な
ことかあるものか。あるとするなら
はそれは死んでも離れぬと云ふ都合
情死位のものだ。

「南米には可なり同胞が入り込ん
だ。肩書文は立派な法學
士、曰く農學士、曰く何、曰く何、
と自称が眞実かそんなことは吾人
の知つた事でない。余りにえらい
人が多過ぎるのに面喰らはざる
を得ない。日本で中学校位の年
業か半途退学位で南米へ來
れば一躍えらい人になつてしまふ
さても南米云ふ所は結構な所だ。
諸君肩書をつけなかつたら南米
へ來る可した。然るに肩書は多
いとしても人物がなほいのはどう
云ふわけだ。肩書はよくてどう
でもよい。実力と人格を要求し
て己まない。今日だ。肩書や看板
を振りまわして飯を喰さうと云
ふは心得も甚だしい。此の世はそ
う甘く出来てないのだから。無冠
でも実力あり人格ある人こそ肩
書に優る所謂えらい人なのだ。
時代はそれを要求してゐる。云
ふよ実力の人。人格の人!!

「官尊民卑の聲は昔から可なり
喧かましく云はれて来た。日本
地に於ける其の弊は殆んどなく
らうとしてゐる。然るに海外植
民地に來て見れば内地に居た時
此の弊習がないものと独り極めし
てゐた己の予想は見事裏切ら
れた事を吾人は悲しまざるを得
ない。海外に在る我が御役人様は
云はずと知れた國家の代表者であ
り。即ち我等同胞を代表して立つ
おんななだ。苟くも人の上に立つ
高官の人が無暗に威張りやうさ
なくとも少くも悪人が出来得ない
官職にある人なのだ。時と場合
に依つては尊敬を拂ふ事を敢へ
て惜しむものでない。威張りたか
るの自己内容不足を補ふためだ
ありその節をつける愚かふる一法
かも知れぬ。(実る程頭を下げる
稻穂かふ) 日本外交と及びその
外交官の無力無能なりとの非難は
最早吾人の耳をタフにしてしまつ
た。外交畑に育つた分子を復の善
要を論せず型通りに放り出すか
らでなからうか? 人物少しと
云ふ同胞八千万の中に外交向き
人材はいくらもある筈だ。外交
畑の分子でなくば都合が悪いと
云ふのなら、日本政府のいつもや
つてゐる官吏の任免精神をぞ
痛くでも打つものなげめたり。出
たりしてゐるぢやないか。吾等も
甚だしい事実を吾人は常に目撃
してゐる。外交畑で育つて上げられ
た御役人様は確かに語學は堪能
だ。誰でも考へられる事だ。然る
に丁度反対で確かな人が余りに
斯く過ぎると云ふ事実に悲觀せ
ざるを得ない。外国に在る國家の
代表者たるものが言語が不十分と
あつては余りに心細い。せめて三國
以上の語學に通じた大腹者でなけれ
ば物の役に立ちさうもない。今や内外
國家多事多難の折柄益々その外交の
宜しさを得優秀なる外交官の必
要に迫られてゐる。諸々の外交官閣
下よ、お威張りなさるの御勝手な
れせめても官尊民卑など流行ら
ぬ。此節其弊を二拂したいものであ
る。機会ある毎に官民の接觸を計
り益々親和協力し海外発展の策
を挙げ以て國威の發揚に努めた
い。(完)

一人で歩め 自分の魂のために

五

の獨創の私の筆を
生ぜたい。本
当の私の生活を書
きたい。表現の如
何とか、技巧の如
何とかに捉へられ
たくない。

生活も藝術も自然であること
が、素直な人間の心のまゝからま
れてくるのが何よりも大切である。
憑かれない藝術、何ものにも囚
われない批評を創造することであ
るもの、ひが存在の價値を持つ
てゐる。

私は自然のままの藝術を、自然の
まゝの生活をもとめる。小主観か
ら割り出された藝術や生活のあり
息苦しさを感じ。
見よ、素直な素直の「キチロー」

「見よ、素直な素直の「キチロー」
を、それは「ミレ」の傑作中に見出
さる、農夫にも増して鋭い、か
しかに華やかなるもの、生活表現
である。誇大的で、賣名物で、小
則巧も主張にもまざることを幾倍
であらう。

私は労働を生活創造の唯一の手
段として喜ぶやうなものにしたい。
つまり労働を私の生活の牢獄にし
たくないこと、つまり私自身の魂を
「ウイダー」ぶりを藝術と結び合
せて行かうと云ふのが主意で私は自
分の心に照して作品に顯はしたいと
思ふ。

他人の思想を捨て、他人の借着
を捨て、他人の表現を捨て、本當

(1) 他人の思想を捨て、他人の借着
を捨て、他人の表現を捨て、本當

忠実にドシドシ行つて行つてみるが
い、唯大刀を振りかざしたげけで
何の役にも立たない。
例へば、宗教は古来大慈大悲を
理想としてゐるといふ。又博愛の慈
善を提唱することを、そのつとめとし
てゐるといふ。これは昔から幾多の
大聖が皆言つてゐることであつて終
局はそれには相違ないかも知れないが
またそれに達しないものか、それこそ
小の所謂形式に捉へられたもので
本當に大慈大悲の心願が起り得ない中
に宗教はかうしたものだと言つて
きめて了つたのは宗教のために個人が
犠牲されて了つた形、個人から本
當に出で行つたまことの考へであるこ
のことは出来ぬ。

評論でも創作でも、筋がふかいか
ら五派でも仕方ない。私はその細
かい内容と肉とこそ貴ぶ。誇大的筋
筋など何とも思つてゐない。細か
に入つた気分と事実は必要である。
却つて解りにくい形容をしたり、
重複したり本人は詳しく書いた積
りでも却つて、それに包まれて本當
のものが出てゐない。作者の持つ
た全人格、全気分がくすくすところ
さあらはれ、あつて欲しい。気分
と事実にさすけ入れられるものであ
つて欲しい。

筋論者、抽象論者は、その論を
するに先立つて先づ實際の人間の生
活に觸れてみるがよい。またそれほ
ど大きな自信があるならば乞ふ、

自己の心理のまことを基礎にして運
んで行かなければならぬ。自分の
根本を知らなければならぬ。自分
を深く掘つてみなければならぬ。自
文字とか、宗教とか、社会問題を
説明し頭を突かむ先に自己に傾
する根本をもつと深く掘つてみ
るがよい。

彼は私の傾向や、私の持つ感傷性
を考へるに頼る粗笨な頭を持つて
ゐる。彼は自然を自己の主観で移
つてみなければ承知出来ぬであら
う。思ひ上つた天才らしい自意識に
陥つて自分の奥体をすう本當に考
へることが出来ぬのであらう。かうい
ふ境地にある彼の心は、その前にど
んな人生が横つてゐるか、どんな自然

感謝の念さへ湧いてくる。
現代の形式はどうであるとか、世間
が何のやうな藝術を要求してゐる
とか、いふことは私自身にとつては
問題とはならない。私自身にこつては
何のやうな藝術を要求してゐる
かといふことが唯一の問題である。
藝術はいつも自分自身の魂の爲
に存在するものでなければならぬ。
私はいつも一人で歩く作家を尊敬
する。

助太刀を持つやうな自称藝術家
は大抵の場合端武者に過ぎない。敢
かならば一人と一人の大刀持ちであ
ればならぬ。

所謂天才藝術家を自あてとして
書き出したものは空虚なものはない。
その作品から殆んど動かされない。
私はちよこさまで人間らしい仲
間の声を聞きながつてゐるのであ
る。沙翁の声、近松の声がそれであ
つた。彼等は最も人間らしい人間
であり、最も素直に人間を、自然を
取り容れることが出来たが故に彼等
の藝術には、何の飾りもない生地の
のまゝの人間の音が生きてゐるのであ
る。いつまでもほんとうに残るも
の、人間の正直な言葉のみである。
どのやうな批評も冷笑も人間の正
直な言葉を減すことは出来ぬ。
人間らしい仲間の声を聴かせつゝ
ある時私ははじめて私の生活の滋味
と深味とを味ふことが出来、讚美や

賀正

横堀三四

賀正

竹原太郎

活きたマネキン

ホセリス・ラヌーサ作
澁谷源輔譯

報時丁然尔垂

それは女性を型取れる実物大の人形であつた。全部で世間許りの髪の毛の白いや黒いのや色とりどりの髪を付けてゐた。皮膚は桃色したりのや蒼白いのや皮膚色したりのやあつた。みんも本當の人間らしくもあつた。併し餘りに理想化され餘りに垢抜けてゐるのでさうに人間らしくもなかつた。これもこれも顔に微笑を湛してゐた。

△△百貨店の窓飾係を勤めてゐるメルナンデスさんはそれらの人形を一つ一つ検らばけ其日の飾付けに使用するため自分の氣に入つただけを選び分けた。彼は選つた中の一つを肩に擔いだ。手袋販賣部のマリテレサ嬢の挨拶に彼は返事した。彼は一寸立停つて嬉しうふ心持を包み隠さうとしながら彼女に言つた。

「僕、よく大装飾家にされるかそれとも蜘蛛にふるかけの午後には判かるんでせう。」

メルナンデス君はテカテカ光る頭の髪を有つた小さな男であつた。彼の肩の上に乘かつたマネキンは馬鹿げた恰好して誰れにでも笑顔を見せつけてゐた。笑顔の人形を擔いだメルナンデス君が通つた時、いかにも巫戯けた曲藝の真似をしてゐるかの様に見えるので若買遣はみくもお可笑しがつた。

マネキンの閣房の中に居るメルナンデス君は幸福であつた。彼は一つ丁寧にマネキンを飾窓に運んだ。そしてさうなだけ優美に見せやうと「ホーズ」さうんと誇張させて窓の中に並べたのであつた。人形は微笑んでゐた。彼は舞踏着や毛皮の外装や絹の「ジャマ」などを彼女等に着せてやる事を約束してゐた。彼はそれ最新流行型の着物を人形に着せてやつた。その藝術家達がする様に自分のした仕事を凝りこめ入つた。そして着物の裾を直してやつたり舞踏の姿勢を直してやつたりした。

正午の退け際に彼は再びマリテレサ嬢の「モストラドル」に立寄つた。彼は意味ありげな言葉を再び繰返すのであつた。

「よく、けの午後に判かりませう。僕が大装飾家になるかそれとも蜘蛛にふるか……」

彼のかがやかしい眼を透して喜悅の情がほの見えた。

午後の勤務が始つてからまもなく見たことの無い一人の立派な男の顧客がサロンを過ぎつた。女店員たちもガワメき渡つた。マリテレサはその顧客のきれいに梳つた頭髪、南張つたネクタイ、燦然と輝いた靴などに見惚れた。

「映画俳優だわ此度。微行で北米から来たにちがひない。何と云ふ役者が知らう……？」

彼の男は帽子を被つておぼつかつた。そして裏返しに疊んだ外装を片腕に押さへて抱えてゐた。マリテレサは顧客に対するキマリ文句を口切りし先きから復讐してゐた。

「紳士は何かご用で……？」

だが其の紳士は彼女に眼も呉れず知らん顔して通り過ぎた。そして飾窓の方に行つて立ち停つた。メルナンデスさんが彼に同伴してゐた。

「さあ中にお入り……」

二人とも飾窓の中に這入つた。暗衣を着け珍妙な身振をした九個の人形が二人を取り巻いた。彼女等は脳掛椅子に物憂げに座つたり或は突起つたま、腰の辺りに片手を持つて行つたり、何等の意味なしに両腕を差しあげたりしてゐるのであつた。

椅子に背中を任せられかけふさいやつたりした氣持でシヤンと構へて……動いちゃいけません。じつと動かすに……彼女等を……あんまりに静止してゐるでせう……」

メルナンデスさんはさう言つたか治さるるマネキンは何とも答へなかつた。そして一寸安易な姿勢を取りうと試みた後やがて動かすに全く静止した。

「左様々々、その通り動かすに……任まの出来事な氣に……」

メルナンデスさんはさう言つた。

飾窓の内側から活動寫眞に出た本も様々狂気が見られるのであつた。人々は急ぎもせず……眺めてゐた。他人眺めたり他人から眺められたりして……中には飾窓に眼も呉れず通り過ぎ行く人もあつた。ほんやりとして眺めながら活きてゐるマネキンに氣附かない人たちが涙山あつた。或は又活きた人間か人形の識別が附かず疑うてゐる連中もあつた。

「此節は恐ろしく精巧な人形が出来た様になつたんだナア。」

「生きてゐる人間だよ、よく見ろい。」

「いや、さうぢやないで……」

小さい論争がおつた。始まつた硝子戸の前に群集のグループが出来て来た。活きたマネキンは硝子を隔て、殆んど何も聞かぬしふかつたが顔の表情や身振りで群衆が何を言つてゐるかを略々察する事ができた。

「馬鹿ツ……この俺が見えんのか？」

彼はさう言つてやりなかつた。併し不動の姿態を保ち沈黙を守つてゐる処に秘傳があるのだからうかつかり身動きしたり、物を言つたりしてはすべてがががが……だと思つた彼は其ま、黙まりこくつた。彼は感情の微動も外に現はさなかつたけれども、その無表情のドク感からいふまでもある事が出来た。袖りで嬉しむ事さへも出来た。

「團の群衆が解散すると又新しい一團がやつて来て同じ文句を繰返すのであつた。」

「巧く出来てるナア。」

「いや違ふてんだ。」

「此せつ斯くものわけよく出る若い数人の女たちは色眼を使つて彼を試みやうとしたのであつた。すると一人の女は唐突に舌をペロリ、出した。

「いや、さうぢやないで……」

小さい論争がおつた。始まつた硝子戸の前に群集のグループが出来て来た。活きたマネキンは硝子を隔て、殆んど何も聞かぬしふかつたが顔の表情や身振りで群衆が何を言つてゐるかを略々察する事ができた。

「馬鹿ツ……この俺が見えんのか？」

彼はさう言つてやりなかつた。併し不動の姿態を保ち沈黙を守つてゐる処に秘傳があるのだからうかつかり身動きしたり、物を言つたりしてはすべてがががが……だと思つた彼は其ま、黙まりこくつた。彼は感情の微動も外に現はさなかつたけれども、その無表情のドク感からいふまでもある事が出来た。袖りで嬉しむ事さへも出来た。

「團の群衆が解散すると又新しい一團がやつて来て同じ文句を繰返すのであつた。」

「巧く出来てるナア。」

「いや違ふてんだ。」

「此せつ斯くものわけよく出る若い数人の女たちは色眼を使つて彼を試みやうとしたのであつた。すると一人の女は唐突に舌をペロリ、出した。

「いや、さうぢやないで……」

小さい論争がおつた。始まつた硝子戸の前に群集のグループが出来て来た。活きたマネキンは硝子を隔て、殆んど何も聞かぬしふかつたが顔の表情や身振りで群衆が何を言つてゐるかを略々察する事ができた。

「馬鹿ツ……この俺が見えんのか？」

彼はさう言つてやりなかつた。併し不動の姿態を保ち沈黙を守つてゐる処に秘傳があるのだからうかつかり身動きしたり、物を言つたりしてはすべてがががが……だと思つた彼は其ま、黙まりこくつた。彼は感情の微動も外に現はさなかつたけれども、その無表情のドク感からいふまでもある事が出来た。袖りで嬉しむ事さへも出来た。

「團の群衆が解散すると又新しい一團がやつて来て同じ文句を繰返すのであつた。」

「巧く出来てるナア。」

「いや違ふてんだ。」

「此せつ斯くものわけよく出る若い数人の女たちは色眼を使つて彼を試みやうとしたのであつた。すると一人の女は唐突に舌をペロリ、出した。

(12) 号八十四百四第

昭和ハッとした彼は再び然う気が付いた。
 往來は寝ぼけた顔や顔狂ふ顔が
 八あとからと来ては去り去つては
 一年又來るのであつた。
 一月 X X X X X
 「モストラドル」が一寸手空にぶつ
 た時マリアテレサは飾窓の後幕
 からこづり顔を出して内部を覗
 いて見た。活けるマネキンは静か
 としてゐて別に彼女を見はしはな
 かつた。そこで彼女はソッと男の固
 固に視線を彷徨させた。だがいつ
 何ん時送還を受けられるかも知れん
 のでいさゝか彼女は不安心地でも
 あつた。

丁 誰れかんでせう？
 報 丁の中に自問した彼女は男の名を
 問ふて見やうかと思つた。然し
 若し返事して呉れなかつたらどう
 しよう。否。返事どころか萬一侮
 辱的言葉でも浴びせられたら大
 変。といふ恐怖心があつた。
 才 正面から往來の人々の視線を受
 けつ、不動の姿勢を保つてゐる生
 きたマネキンは何んか自分とは
 十分の背後からも誰れかに見られ
 てゐる様な気がした。彼れの直
 八 惑は誤らなかつた。彼の後頭部
 号 と片方の耳の後に何者かの視線
 (13) を受けとる事がまぎれと感
 じ得られるのであつた。ゲルリ頭

を廻轉して後を振返つても見たか
 った。然し動いては不可ないのだ
 た。そこで彼は動いてゐるか動いて
 ないか殆んどわからぬ程度の緩漫
 ぶ運動を企てた。それは時間を示
 示す時計の針の動く速度であ
 かつた。彼は一、二、三、四、五、六……と
 五十迄の数を数へてやつと一ミリーメ
 ートルの何分の一か頭の位置を動
 かし、そして更に五十迄数へた
 すると彼はマリアテレサの視線に
 ぶつかつた。それは多分に期待を
 宿し容易に言ふ事を肯き相づい
 暖しいバツチりした眼であつた。彼
 はさうした明眸の上に静止して
 ゐることの幸福を無表情の奥
 底にしみと感じてゐた。マリ
 アテレサは「モストラドル」の用事
 で一時姿を消したかまもなくま
 たやつて來た。そして前と同じや
 うに彼に視線を向けた。普通の
 男に對しそんな視線を投げ掛
 ける勇氣を有たない彼女、不動
 無表情の生きたマネキンに對し
 てそれが馬鹿に大膽なものであつた。
 多分に期待を宿し言ひふりにふ
 り相づ温順しいバツチりした彼
 女の眼眸の上に憩ひつゝある彼は
 何ん和幸福だつたことよ。
 「エルナンデス」さんが彼を迎へに來た
 時思はず彼は吃驚した。彼女
 の眼のお蔭で彼が時間の経つ

をすつかり忘れてゐたのだ。
 倦怠から解放された様な振り
 をして彼は飾窓から下りた。そし
 て裏返しに疊んだ外套を片手に
 抱へ女店員達の顔を振り見もせ
 ずサロンを横切つた。彼は更衣
 室に這入つた。そして瀟洒た
 洋服を際然たる靴を脱いだ。そ
 れから着古しの垢光りする自分
 のパンタロンを穿き踵のすり減つ
 た自分の靴を穿いた。そして彼
 は型の崩れた帽子をかぶつた。
 X X X X X
 彼は街上の寒さを感じたので上
 衣の襟を突立てた。△△△百貨
 店の附近には女店員たちを待ち受
 けてゐる男子の群れがあつた。
 彼は幕の向から自分を覗いた若
 い女を思ひだし、そして彼女の眼
 眸を思ひ出した。彼は暫く其延
 いに立ち停車することに決した。女を待
 受けら連中の中には自分の友人等
 もゐたが彼等は毎日の午幕さう
 附近に落ち合つては「フトボール
 の批評ふくかしてゐるのであつた。
 自分の「ガイア」に對して、自信
 のなき相な男や、嫉妬するらしい
 男等から彼は裏面を突き付け
 けられて不快を思ひをしなければ
 ならなかつた。
 「こい奴、新顔だかどの女を張
 りに來たのか知り……」ひよつ

としたら倦く女やあるまいか……
 X X X X X
 街通りは寒かつた。彼は両手をホ
 ケツトに突込んだ。女達が出て來た
 独りで行くものも有り、男に寄りつ
 いて腕組して行くものも有つた。マリ
 アテレサは電車の中で読むため小
 いさ小冊の小説を手にしてゐた。
 彼女は寒さに震へながらジロ／＼
 自分を眺めてゐる一人の男を見た
 が、その男の誰なるかを知らなかつた。
 其日の夕に限つて男と一所に行く朋
 輩たちの姿が何となく彼女を憂
 鬱せらした。
 平生映画好きだつた彼女は幸福
 な気分になるため映画の事を考へ
 た。そして自分の頭の中で一つの
 映画の筋を編んで見た。彼女は
 無表情の活きたマネキンの眼を想
 起したのであつた。(おわり)

謹賀新年
 一月一日
 宮澤次郎

謹賀新年
 一月一日
 吉崎芳太郎

賀正
 金泉虎雄

昭和八年八月一日

故郷を想ふ

洋父

「ブルツを聞く時、誰でもあの美しきうな、タムプの流れる物静かさう、勿利の首都、ブグベストを想像するやうに、タンゴを聞いたことのある人は誰でも、アルゼンチンを想像したのであろう。

ラ・プラタの片岸に立つてゐる物静かな、ブエノスは浪漫的な夢と近代的魅力の首都である。

地理的に云へば南米の中心である文化的に云へば南米の中心である。丁リ、亜国の市民たちは殊に漸く物心ついた若い娘たちの思慕はこの「ブエノス」につながられるであらう。亜国民の久遠の恋は華やかな「ブエノス」の生活であらう。

彼等は末に夏のようこびに胸を打たせながら、灯の明るい街の中を歩き廻る。そこにあるものは陽気な愛慾、派手やかな歡樂、對輕な微笑である。

亜国民にはかういふ生活が太い線で流れてゐる。

○

快活な亜国民、親切な亜国民、人種差別しない亜国民、その一切は私にとつて愉快な印象である。しかし

道学的な、理智的、北アメリカ

空気に比べて、感情的な感能的の日本人は、ある淡い恋心に胸のときめきを覚えることは前者よりも多く、又この亜国の情調は祖国時代の美しい詩を引き出すことが多い。

浪花の丁、京都のA、博多のM、—— 学生の友、私の周囲に集つてゐた当時の友、いつのまにか離れ離れになつて逢つてみた、語つてみたいと思ふ人が可なり多い。しかしそのうちには行くへも知れない者もあれば、死んでしまつた人もあらう。

○

現在の生活が機械的のものであるほど、幻を追つてゐた学生時代のことが、この上もなぐ尊いもの、やうに私の心に映つてくる。

私たちの感傷性——— それが青春の「シンボル」である。——— は僅かにその時代に於てのみ。そして、そして、たゞそれだけで消えてしまふ。

日本人の如くに、速かにその青春性を失ふ国民はないであらう。

又学生時代に於てのみ、私達はいかに高潔な理想を語つてゐたか、そして、そして、たゞそれだけであつた現在の生活が散文的であれば、あるほど故郷のありし日のことが美しい詩となつてあらはれてくる。そして、今、たゞ一人である自分自身を見出すのである。結局自分一人である。弱くなつてはいけぬ、一層力強くふるはなければならぬ。

○

私たちが日本人をして甘美な胸醉の夢にさせよう、あの情緒の「メロデー」がない。たゞ繪画的な智慧の深遠さがあるばかりである。(外) 人と相違を語るもの、そしてそれは限りなく日本人の生活を叙しとする。

故郷を想ふ日私の胸は傷む。幸便に贈るものなく、私が商船の乗組員N氏に依頼した「健康である」と云ふしるしの寫眞一葉を今頃母はみつめてゐる頃であらう。

○

子供を旅に出した両親、母は今、父の佛壇の前に眠つてゐるであらう。眼がさむれば茶の間に父の愛好した茶器を出して朝も晝も

たゞ何となくこの亜国の社会のうちは私の全部を満されないある事がある。その感ずる物足りなさは何であるか、今だに明瞭に解らない。に、外国生活に慣れぬ故に、帰つて行くべき祖国を、家を持つ為になんか精神的空腹を感じるのであらうかとも思ふが、それでもない。

えてしまふ。

日本人の如くに、速かにその青春性を失ふ国民はないであらう。

又学生時代に於てのみ、私達はいかに高潔な理想を語つてゐたか、そして、そして、たゞそれだけであつた現在の生活が散文的であれば、あるほど故郷のありし日のことが美しい詩となつてあらはれてくる。そして、今、たゞ一人である自分自身を見出すのである。結局自分一人である。弱くなつてはいけぬ、一層力強くふるはなければならぬ。

○

私たちが日本人をして甘美な胸醉の夢にさせよう、あの情緒の「メロデー」がない。たゞ繪画的な智慧の深遠さがあるばかりである。(外) 人と相違を語るもの、そしてそれは限りなく日本人の生活を叙しとする。

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 賀正 | 賀正 | 賀正 | 賀正 |
| 西野七子 | 出口貞三郎 | 坂戸市兵衛 | 賀正 |
| 賀正 | 賀正 | 賀正 | 賀正 |
| 土井増吉 | 本田哲 | 指宿一男 | 賀正 |
| 賀正 | 賀正 | 賀正 | 賀正 |
| | | | 小園重正 |
| | | | 田中長造 |

晩も、お茶を飲んでゐるであらう。昭
 今度故郷の母を訪る時、私は一
 和番上等の「カフネ」と葡萄酒を買
 八つて行かう。
 一月一年 山陽線の汽車は旅人を載せて田
 畠を隔てた線路を走つてゐるであ
 らう。よし窓を開いて白壁の倉
 をみたものがあるとしても旅人はこ
 うしてあの家に女神のやうな私の母
 が海外にゐる小供を安んじてゐるこ
 とを想像することが出来やう。
 あつた、新しい生活のために忘れられ
 てゐるやうな過去の自分のなつかし
 い姿が私の心にしづくとよみがへ
 つてくるのは母を思ふ時である。自
 分といふものを、ほくとうに考へさせ
 りれるのも母を思ふ時である。
 母は私のために幾度か声を出して
 すべりあげて泣いた。しかし、あの
 頃は一番幸福であつたやうに思ひ
 た。二つの花籠に入生のすべての幸
 福が盛り込まれてあつた。

所詮は人間は、凡てつたふき宿
 縁に泣かばければふらめつである。
 強いて親子が離別しなかり尚親
 子が互に思ふやうな心をしめしめ
 と味つて行く。
 私は故郷を忘れ得ない。誰でも
 うであらう。けれども私に此頃特
 に故郷が恋しくなつた。母の家で
 と、赤弟と、それから私が豆圃から連

れて帰る妻と、静かな故郷の生活
 を送つたと思ふ日が多い。
 子として親を思ふ心、夫として妻
 を思ふ心、ほど美しい生そのもの、
 閃きが現身の世界を去つて何処に
 見出されよう。現身の世界は永
 劫の虚無の時を通じて、私たちに
 与へられた刹那の現実である。
 「此の世に神がなかつたり生きて
 居れぬ」ふと、云ふ思想、家もあ
 り、私にはさう思へない。神を失つ
 ても宗教を失つてゐても、一人の親
 母が生きてゐる間は、妻が生きて
 ゐる間は生きてゐる。人と人の
 美しい心が動いてゐる間は生きて
 ゐる。

亡き父と、現在の母を想ふ時が、
 今の私の生活の一番静かな気分の
 時である。
 私は母のことをいつか思ふ、父のや
 やうに思ひかけ、死別した事
 を思ふと、もし今母が居なくふつ
 たり、この世がどんなに頼りなく
 るであらう。母が生きてゐる間、
 早く母を訪ね、私の妻をあわせた
 い。そして一緒に静かな故郷の生
 活し得る幸福を夢みてる。
 「人生とは」風を鳴る葡萄の葉音
 を聴きながら考へることがある。や
 がて母からも、姉からもすべての人
 々からも別れて永遠に、一人

券がなければならぬことを想へ
 ると寂しい。そのやうな涙を流さ
 ない寂しさの深さがだん／＼と
 かつてくるやうな気がする。
 海外に勇飛して来た人々の前に
 二うして——租國を想ふことは
 人によつては或ものを缺く所
 以であると云ふかも知れない。
 故郷を想ふ——それは誰にも束
 縛せらるゝことのない、私のたゞの
 自由な世界である。
 それをたゞの時だけが、私が、悩
 みつゝあることを知らう。
 しかし、それでたゞさんである。

謹賀新年
 昭和八年元旦
 有水藤太郎
 全 藤 雄

- | | | | |
|-------------|------------|------------|--------------------------------|
| 賀正
鈴木驥一郎 | 賀正
羽生 哲 | 賀正
高橋常依 | 賀正
田川 清
グイジマ、マリア |
| 賀正
田中乙吉 | 賀正
塩澤長助 | 賀正
高木一郎 | 賀正
年中に付き
年賀の礼を欠く
楯岡 實 |

人に親切で義務的な性質を持つて
昭あるか最後迄やり通す気の無いの
和か欲矣、異性には愛されるが恋愛
八問題には淡泊の方。

一 結婚、良縁があれば結婚は早い
一 方が得策だが情に脆い方だから配偶
一 者の選択は心を冷静にする事加肝
一 要、六白、七赤、九紫は相性

◎本年の運勢、本年は衰運の年
で諸事意の如く進まず無駄の折
れる年である。

◎功を急いで無理借金は一生涯の災
難、結婚、関係は慎むべし、先づ身の
修養が第一。

◎九才折角の遠大な志望も思ふ
やうにならず、異性問題に煩悶あり、
三六才病氣には特に注意、業務も
下手堅く新居開業口腹直に夢々感
に迷ふ。

◎七才放縱安逸より失敗を招く、目
下の者より迷惑を受く、
五六才、觸らぬ神に祟れし、何事も
自己の足許を注意、特に飼犬に手
を噛まれざる様。

◎六白金星

◎七才金星

◎八才金星

◎九才金星

◎十才金星

◎十一才金星

◎十二才金星

◎十三才金星

人に一倍幸福と快樂を布つてゐるが忍
耐力に乏しく些細な困難にもたれたる
傾向があるから、意志を鞏固に持つ
事、異性に対しては特に深い愛情
と理解を傾ける方である。

◎結婚、結婚は急ぐ必要はない、冷
静に良縁を選びべき事、一白、二黒
五黄、八白は相性。

◎本年の運勢、本年は美は多
事多難、重荷を背負つて坂道を登る
か如く、登りつめる迄が苦勞、然し前
途の光明は眼前にありて努力こそす
れば華道を逃すやうな事は無い。

◎九才折角の遠大な志望も思ふ
やうにならず、異性問題に煩悶あり、
三六才病氣には特に注意、業務も
下手堅く新居開業口腹直に夢々感
に迷ふ。

◎七才放縱安逸より失敗を招く、目
下の者より迷惑を受く、
五六才、觸らぬ神に祟れし、何事も
自己の足許を注意、特に飼犬に手
を噛まれざる様。

◎六白金星

◎七才金星

◎八才金星

◎九才金星

◎十才金星

◎十一才金星

◎十二才金星

◎十三才金星

探しては口喧しく小言を云つたり、
不平を起したりするが、総ての人
を愛し、総ての人を教、導くべき力
に恵まれてゐるから、苟且にも人の
缺點許り深してそれを無暗に責
めたり、不平を云ふべきではない。
此の欠を矯めたいと折角の天稟も
遂には失ひ、健康をも害するから
必ず矯正する必要がある。細か
い手先の仕事は全々不向で、教育
家、宗教家、法律家、医者等は最も
適任、異性に限らず、自身より弱ま
る者、自分を悲慕する者に対しては徳め
て深い愛情を傾ける人であるから、
異性から悲慕される代りに身を誤
る傾向がある。

◎結婚、急ぐ必要はないから心の
修養を積む事が肝要、一白、二黒
五黄、八白は相性。

◎本年の運勢、本年は稍、衰運
の形であるが、新規事業に手を出
したり、業務の拡張は差控へた方が
得策。

◎七才放縱安逸より失敗を招く、目
下の者より迷惑を受く、
五六才、觸らぬ神に祟れし、何事も
自己の足許を注意、特に飼犬に手
を噛まれざる様。

◎六白金星

◎七才金星

◎八才金星

◎九才金星

◎十才金星

◎十一才金星

◎十二才金星

◎十三才金星

美しい性情を持ち、仕事にも中々
熱心によく働かが引込思案家で熟
慮許りして断行しないため折角の
計画が無意義に終る事が多い、如
何なる場合でも短気と生意氣な口答
は覆まねばならぬ。愛情が偏する
方で人一倍復讐心の強い方である、人
に親切で義務心もあるが自己を忘れ
ては何の役にも立たない、功を急ぐ
ため投機的な事に手を出したがるが
この方面では成功の可能性全くな
し、情に脆い方ですぐ安惚する事は慎
まねばならぬ。

◎結婚、充分に冷静に配偶者を選
ぶのは、急ぐべからず早い方が得策、六白
七赤、九紫は相性。

◎本年の運勢、本年は盛衰甚し
軽率な行動は慎む事、
三六才我々の行爲多く、他人の意見
を聞かず、職業を失ひ、窮地に陥
る事あり、動かさざるが得策、性柄に
は特に注意。

◎七才放縱安逸より失敗を招く、目
下の者より迷惑を受く、
五六才、觸らぬ神に祟れし、何事も
自己の足許を注意、特に飼犬に手
を噛まれざる様。

◎六白金星

◎七才金星

◎八才金星

◎九才金星

◎十才金星

◎十一才金星

◎十二才金星

◎十三才金星

麗しい性情の持主で仕事に對し
ても熱心でねばり強い人であるが
免れずと懐心して人を見下す様
な傾向があり、人の意見に耳を傾
けず、風があるか自己の才能を發
達させるためには人の意見にも耳を
傾ける事、生来旺盛な独立心と
鞏固な意志を持つてゐるが時と
するに偏見に流れるからこの欠は
矯めねばならぬ、陰気の方で一見
落付いてゐる様だが眞の心は決し
て落付いてないから心の修養を怠
つてはならぬ、恋愛には忠實に
やり通すこと。

◎結婚、良縁あれば早い方がよし
二黒、五黄、八白、三碧、四綠相性、
◎本年の運勢、本年は概して
衰運の年で多少不愉快な事があ
つても不平を起さず笑つて解決せ
ねばならぬ。

◎七才放縱安逸より失敗を招く、目
下の者より迷惑を受く、
五六才、觸らぬ神に祟れし、何事も
自己の足許を注意、特に飼犬に手
を噛まれざる様。

◎六白金星

◎七才金星

◎八才金星

◎九才金星

◎十才金星

◎十一才金星

◎十二才金星

◎十三才金星

新年御題

仙骨謹詠

朝の海

初日影勾ふ松原海見送て

ふや風もふし御代の日出度き

朝ほりけ海原遠く見渡せば

はつ日をうけて鷗飛ひ交り

和歌

孤愁ある日 杉田俊夫

歌詠せて生きむと思ふその日は

風のことくに確かふりぬは

南米の野に在り寂びて事もふし

あはれ妻にある青春の日は

花柳子のかほる馬末に船捨て

去りにし君の明け暮れを問ふ

なるすれはかゝる気弱き性なる

思ひるあはれ旅に出でたし

我が恋ふる君死にたらば滝口の

それのことくに為むと思へど

あはれ我れのそれと変りてこの国の

若者ごもの恋のうまひけよ

健やかにノビオ・ノビアう恋語る

この国習を懐しと見ゆ

海遠ほき君よりおくりれたしより

まければまづ酔はむとす

園丁の歌へる 杉田俊夫

働りきて食ひて寝てそれだけに

我が青春の二夏は飛ぶ

草いぶし鉦を叩きて聲あげよ

いま空奪りしラジスタ降る

飄々と空を渡りておとつれし

蝗の群のおとけ憎めす

ラジスタ渡り来ればお會式の

大鼓のことく鐘を叩きぬ

つゝましく野に在る恋のまなれば

コロラデ・ノ・オとや呼ぶらむ

南洋のトラク島に在りし日の

父のころも憶ゆるかあ

おりくゝの歌詠めどもおほかたは

洗足もなすすその後に寝る

さりながら日本を立ちて三年目

まだあてもなき園丁に候

冷たき苦悶 和久 充

涯のない地殻の上に立つ人間といふ食し

い肉体を孤独の感き以て思念する時

冷たい苦悶を起さずには居られぬ

私は何処か徹した落葉を見 落木の

実を見てより激しい 私には蠱惑的で

あるこの苦悶に心かなる感謝と自分

あふか故に自分の感を持つ喜びと、神への敬虔な祈りを捧げずには居られぬ心境にふりさる。

感傷的衝動の鬱滞は物凄く破壊的気分を醸さしめる。然しそれを慰撫するものは世にも淋しい理性である。

孤独でなくては、真に自然は味はれぬ。自然の魂を掴み得ぬ。

真実を失ふ時ほど私の生命は空虚なことは無い。弱いことはない。私の云ふ真実は一種の靈感である。三世古今を通じて変わりざる剛健堅実なる天地の「真」である。これなくして終へてのものは私にとつて何の價値も無い。幻影である。一時に及んで直ちに消ゆる果かな影である。人生一切のものは此の真実に根ざしたものでなくてはならぬ。これなくして私の生命の價値は全然無い。故に省みて真実少き自分を痛恨するのだ。

平凡でいゝ。だが平凡にも高低がある。高い平凡を私は求める。表面は、平凡なる生活に従事し乍ら、内に於て靈界の光明に鋭く精進する人、そんな人を私は好きた。

ごんが争があつても勝まで勝らしたくはない。腸の腐つた人間程、往々に終へぬものは無い。腐つて了つたら新しくする事は不可能だ。常に我は腸を洗ひ清める必要がある。

驚異(到達するには深い瞑想と思索が必要)その長い間を忍ぶことが我々を

驚異の世界へ入りす。

時亭川柳

念然坊

松岡代表

逆射砲(松岡の綽名)一時間半アツ續け、小僧共顔洗つて来いと松岡どふりつけ。

サイモン

小僧等はサイモン(条文)語りにへコマされ

リットン

満洲見物に來てリットン恥をかき、満洲へ送々笑はれに來たリットン。

聯盟

脱退は怖はし、日本はいぢめたし、今更に聯盟ホコペンと云つても追いつかず。

顧維鈞

謹賀新年

一月一日

山本實雄

COZA LINDA Y BARATA

LETRA DE:

- TANGO -

J. G. CASTILLO

(1)
Cuando manro el bequén
de mi pobre ilusión
y en mitad de la vía
campaneo pa atrás,
me parezco a esos turcos
que cargando un cajón
se imaginan que llevan
un feroz capital!...

(2)
"Alhajas, boinas, patrona,
di oro e di platas
y cosas lindas, baratas
quere compra?..."

Esta ambición
hecha de cachos de cristal
y un corazón
que ya quisiera ser coral!...

(3)
Y este cajón
de chucherías que cargué
y lo llevé
por mil caminos de ilusión!...

Y reliquias de amor... y
mascotas de fe... y
un perfume infantil que se fué!...
No me llamen, por Dios!...
Déjenme caminar
bajo el falso tesoro
de mi loco bequén,
hasta el día ó la noche
que cansado de andar,
como un turco
me duerma en los rieles del tren!...

(4)
A ver si al fin se termina,
sobre la vía
con toda su fantasía
mi colección!...

Esta ambición
hecha de cachos de cristal
y un corazón
que es un dije de coral!...

(3)
恋の遺品に
縁起の偶像
芳香の失せた「ヘルブ」
安ピカ物の我羅苦多を
硝子細工を掻き集め
珊瑚にせうとは剛慾な

(2)
金銀ダイヤ
うつくしい
安價だ
お内儀さま
買はぬかい?...

(1)
あんな幻想とささとりつゝ
行途に後を振り向けば
頸に吊した箱一個
ごえりの資本とうめ惚れて
「トルコ商人」通ります

(4)
俺の安ピカコレクション
消え失せようかい 鉄路の上に
チモ 剛慾がわが野心
硝子細工の掻きあつめ
珊瑚の玉とは浅ましい
(おわり)

詰めたるこの箱 抱かえつゝ
幻想の路 此処 彼処
さまよひ歩く 俺ニテ
「トルコ行商」に似てるわい...
狂かひじみたる幻想の
塵世の寶を背負ひ込んで
歩み疲れて「トルコ」の如く
夜中 田中の區別なく
汽車の線路に熱瞳する...
呼ばり止めるな 俺や歩み
線路に熱瞳する日まで

『ゴザリンダイバラータ』の唄

— タンゴ —

ホアキン・カステイヨ作
濫谷源輔邦訳

コリエンテスと私

友左

街の四年前と今日

市中の午後側の家はシシとして
 めて、人の声も少ない。
 十月だと云ふのに、太陽のいさくでゴ
 ンクリートの道は焼け、その照り返
 へして、鼻も顔ももうだる様だ。時々
 アイスクリーム賣りが、こんで来ない
 奇声を張り上げて、シエスタの夢
 を破る。四年前私が此町に居た頃
 石畳の車道に重たい地響きを立
 て、ねむにけに通つてゐたあのカー
 丁の姿は今ではもう市中に見られ
 ない。そして日本の昔のカタ馬車
 思はせる様な電車も市外の車庫
 に押し込められてオムニバス独り我
 もの類に市中を走つてゐる。然し此
 のオムニバスにもや、客の求めに應
 じて止りも動きもするのだからうん
 きなものだ。
 道路も変つた。家の構造も変つた
 四十年前の商店の店の飾り附
 十も変つた。何もかも進まうとして
 八の、動揺してゐる。然し變つてゐ
 号ないのは呑気なコリエンテスだけや
 つぱり昔の通り男は如何にして女
 (20) を、女は如何にして男の心を捕へや
 うかこのみしか考へて居りぬ彼等

はあ、
 この町の目後の
 通りをフニ街と
 言ふ。人呼んで
 コリエンテスのフロ
 リーダは笑はせる。
 此街はさすかメインストリッドだ
 けあつて、日中といへども幾らかモ
 ヴィエントがある。だが此の通りが
 本當に活気を呈するのは夕暮のウ
 エルム時、この時間は武市のフロ
 リーダ街を模倣して卑止め、着飾つ
 たコリエンテス、エタ伍々どわり歩
 と、ペーヴメントの両側で男共が鼻
 きをくくさせて見とれる。此の時
 間はカネーのいそがしい。
 然しその行列の通る両側のチイエ
 ンダなどは商賣上つたりで見むき
 小ざれお、せれでもチエエンダの
 観心自ら店先に立ち小まかつて
 デュエスフレを見て眼を細くしてゐ
 るから滑稽だ。四年前にはフニ
 街といへどもさうした光景は見ら
 れなかつた。唯今でも町離れの風
 雨にさびれたカサ、コレドールから
 は石油ランプの臭いと甘い鼻
 につまる様なグアラニー語とか洩れ
 て来て私は四年前のはつかしい記
 憶をよみがへらせてくれる。

眠むさうぶ空の上に続々と動いて

棧橋の午後

ある雲が川向のチヤコノ平野に消
 えて行く。バラナ河にボツネンと
 渾く小島が連日の雨で水増を増
 した濁流に段々と河下の方へ流さ
 れて行く様に見える。
 若者が巧にあやつる波が水鳥と競
 走し、流れて押されて眼の前
 を通りすぎた。
 何んかなしにねむ気をもよほす静
 かなコリエンテスの棧橋のゆるさかり
 だ。
 突如、此のけだるい空気を破つてチヤ
 コノ小蒸気が勢よく河を下つ
 て行く。リアチエノ先端にアス
 シオン号が水の行方逆らつて、その
 姿を現した。
 すると今迄棧橋のベンチに黙々と
 座つてゐた人々が立ち上り、グアラ
 ニー語のチヤンがドールの一隊が急に
 緊張した。やつと船が棧橋に
 横着にふると、今迄眠つてゐた棧
 橋がひとしきり賑ひ、出迎の人々は
 お互の無事をよまひ合ひ、乗込
 む人々は接吻にしばしの別れを惜
 しんでゐる。降りる人は皆丁寧降
 りてしまつたりしい。然し私は未だ
 あきらめられない気持で、誰れか恋
 人が降りて来るのではいかと人
 波を押しわけて船の下をのぞき
 込んで見た。
 でも世分の後に船が河上に向つて出
 帆してしまふと私は或る淋しさ

に思はず涙ぐんだ。私の幻想は
 はかなくもかき消されてゐた。
 「馬鹿ぶー、アエスにゐる彼女が来
 るもんか……」
 そうは思ふもの、若しかしたら此
 の船で自分を訪ねて来たのでは
 ないだろうか？と、うめぼれて見
 る私だつた。
 恋人と別れてもう六ヶ月の月日は流
 れて行つた。お互の將來のため別
 れ、に任んでゐる此の幾ヶ月で
 もたまらない淋しさがアエスか
 り船が着くと云ふだけで私を棧橋
 まで引づ、て来たのだつた。四週は
 又もとの静けさに帰つて、初夏の風
 が河面を打せてゐる。棧橋から系
 をたれてゐる男が四五人、税関吏
 と話をしてゐる。眼前には濁流が
 物凄勢で流れてゐる。
 我れに帰つた私は大きなツバキを
 パット河にはいた。然しそのつは
 きは水面に落ちると同時に濁流
 に捲き込まれて流れていった。
 と私はとぼくとかな家路を指
 してゐた。

夕暮

暑さにちびちびまつてゐた町も水が
 蒸めつぽく匂ひ、物思はしげに彼
 方此方へ靡く葦に、対岸のチヤコ
 の原野が空の色とソフトフォー
 カスされる。 (次頁下段に続く)

賀正

小川 勇

賀正

府内 喜平

賀正

仲間 平助

謹 賀 新 年

坂場三郎	指宿一男	上田秀之助	緒方義雄	稲富忠	市吉真市	中野萬次郎	菅沼九太郎	佐伯克太郎
山内輝彦	山脇龍雄	川村一郎	長江定吉	中島元治	大島健	中本勇	霧口醉華	鈴木義實
水野勉	蓋谷源助	右田紘助	谷口萬年	川村次平	平川末友	蒲地菊助	藤岡徳夫	木林正男

(前頁よりの続き)

星のまた、きと共に無限の平和がコリエンテス町に落ちてくる。すると何処にわかれて来たのだらうと思はれる様な人々が夕の町にうかれ出す。あらはな肩と腕、ほころかに高まつた胸に男を魅するコリエンテス美人は夕の街を彩る。試みに河畔のバセオ・ミートレに行つて見る。岬が河中に突き出して眼前には月に照らされた小島が、亜熱帯植物の香りと、流のメロディに若い人々の胸に二脈の感傷を抱かせる。或る日本人が此の島に玉兔の岬と名づけたといふ話がある。

成る程うまい事を言つたものだ。じつと独りで見てゐるとラインの流れに踊り出たと云ふローレイの様な乙女が今にも自分をまねいてくれるのではないかと思はれる様だ。

此のバセオ・ミートレと云ふ所には、随分艶っぽいエピソードが町の噂の種子をつくつてゐる。

町中のフラサと云ふフラサも勿論一對の男女の爲めに依られた様な感じがする。

甘い唄がフラサの木々の梢にまでもしやんで、青みがつた月の光に草や木でずり踊つてゐる様に思へる。こうしたふくもきを独りで歩いてゐる私だった。一對の若者達は可哀想なハボネス・野暮も独り歩きをしてと言つた様な眼を以つて行き違ふことに私を見てゐる様な気がする。二つな時は私の恋人が側に居てくれたから……と思ふと、たまりない淋しさに、切角散歩に出た私の気持は打壊されて、家に向つてすくと歩くのだつた。さもなくば誰れも居ない市外の泥道をノラ犬の様に歩いて、歩き廻るのだつた。

亜細亜は自らによりて救はれるか？

— 於長春 —
ラフレシヤ社通信員
ジョン・メイソン 記者

文明の進出が民族救済の意味であり、その救済が民族の福祉増進を意味するものであるとすれば、西洋の亜細亜救済は正に是れ夫欺ふり云はねばならぬ。西洋は過去幾百年間にわたり、直接又は間接に或は暴力により或は情けを掛けたりして東洋に驥足を延ばして来た。されどアジア大陸は今日おほ

丁依然として貧困窮迫の状態にあり、萎微沈滞の域を脱して居ないのである。併しひとり日本だけは西洋と比ぶるに足る文明程度に達してある。故斯く成功したのかと云ふに彼は自己特有の創造意識と旺盛なる創造的活動力を有つてゐるからである。西洋が東洋の後見人となふり、そしてその役目を果さうと結果させ様と期待するのは無駄なことだ。

十 後見人たる者は被後見人に対する八理解がなければならぬ。それは唯号に何に彼につけて自分が被後見人に優つてゐると考へたり、自ら他人を救つておたりしたのでは駄目なのである。後見人たるものは自分が教育

の相違から生ずる優劣の争闘に依つて得たものである。西洋は或は文化の競争上から、或は生存競争の原動力から優劣の争闘を惹起し、辛い憂目に遭つて来た。その憂目は一時的禍を清んだのもあり、永続的に後を延びてゐるものもある。さういふ争闘の中より自己利益と自己表現と自己に信頼する心得け等に就いて更に責い教訓を學んで来たのである。生命の衝動は創造的活動を求めて、時には激烈な肉面的競争を要求するものゝ如くに思へる。而してそれは文明進歩の道具を鍊へ磨くのが目的の如くに思はれる。この事實は過去の歴史が吾人に訓へてゐる。即ち進歩と云ふものは努力を要求し、努力は総じて辛ういもの階ましいものだからである。而して又近代文明が未だ發達せなかつた昔の時代に於ては、個人にしろ國家にしろ骨の折れぬ單純な生活様式を固守して、單に、しきたりの境遇に甘んじ、理智的不感性に罹つてゐたやうな状態だつたから、隨つて其処に進歩はなかつたわけである。

今日の西洋が文明進歩のために危険を冒さず争闘を減退せしめる事が可能と云ふ処まで果して

賀正
加藤新吉
加藤克一
津曲恒太郎
清水謙吉

謹賀新年
一月一日
梶田修一

謹賀新年

賀集明興園

本園 市内カビルド街三七〇番
電話 七三(ハンバ)一三七四番
生育部 エスコパール町
F.C.C.A

進化するか？ 共力共同と云ふ
 昭 争が同じく文明進歩のためと云ふが、
 和 暴力適用の潜在意識に比して優
 八 つて居ると考へてゐるか？ 而して
 年 また共力共同が暴力適用よりも大
 一 八 抜けて創造的活動の目的を達
 するに役立つと云ふ事を見届けたら
 か？ それを見届てゐる程度に達し
 日 ちか進化してゐると思つてゐるか？
 一 月 とも西洋諸國はそんな風に進化
 してゐるのか？ かく自己惚れてゐる様
 だ。併し西洋御自身たちの現状は
 如何うだ。 歐洲諸國は現在軍事
 上から互に猜疑し合つてゐるだけ
 ないか。

共力による文明を生み出す迄
 東洋はほほ幾多の辛酸を
 嘗めなければならぬ

以上が如く言へば、さて吾人は東洋が
 西洋と同等の智識を獲得したと云
 ふのではない。吾等がアジア大陸
 第 のうち支那領域ふんかは永遠の混
 四 乱状態であり、詳細割據して富
 百 源の時的支配権を争ひ、絶へざる
 四 争鬪を繰り返してゐる。

十 文明進歩の獲得は現代で神様た
 八 ちかり人類に授けられるものではな
 号 い。それは人間が人類生活に對する理
 解を増す事や、協力協心によつて
 人 間行為の衝動を如何に保つかと
 云 小事を學んで行く時その報酬と

して貰へるのである。然しその課
 程は學び覚えやうとしてもふか
 容易の業ではない。半世紀掛つて
 勉強した歐洲自身でさへ之を學び
 得た処は如何に僅少であつたかと云
 小事はかの世界大戦を惹起した事
 によつてもよく判かる。

東洋は協心協力によつてそこに新
 りしい文明進歩を生み出すに至る迄
 はまだ、辛苦艱難を嘗めなければ
 らない。西洋が過去に於て學んで来たと同
 様に將來に於て苦しい経験を
 嘗むべき事だ。西洋が過去に於て
 行かぬ事、東洋が過去に於て行かぬ
 事、それ以外に歩むべき道があり
 ぬ。東洋が自己救済のため
 一生懸命に於ける時、西洋はそれを邪
 悪する多くの事をこそすれ援助す
 る事は極めて微々たるものでありう。
 若し西洋が専ら自らの経験から創
 出した見解に基ける人類社会進歩
 の手段を、無二東洋に強制する
 からは東洋をして進化の行程を遮
 断せしむる事になる。けれども斯の
 如き遮断は一時的にすぎない。何
 と云へば、かかる場合東洋は無論西
 洋の出發張りを突飛はし、列強除
 けてしまふであらう。

東洋は今自分か救はるゝ道を探
 かけてゐる。恰も西洋が生存の衝動
 に苦しみかいた場句に自分たち
 に適合せる手段を見出したと同
 様に東洋も亦幾多の試験を経、
 失敗を重ねることによつて、自己
 特有の手段方法を見出すに至るで
 ありう。要するに東洋が進歩を
 遂げるか否かの問題は創造的活
 動力で近代精神が支那に於て發
 展を見るか否かに依つて決定される
 う。過去に於ける支那は多大の
 文化的恩恵を日本に與へた。日本
 國民に与へた支那の感化は藝術
 と宗教とに於て甚だ根深いもの
 があつた。けれども日本は支那
 かり取容れたものを、絶えず修正
 して来た。しかのみならず日本は
 功利実用的方面に於ける彼の早
 校亦手腕を決して失ふ事かほか
 つた。功利的文明に對して不感
 症ふる花々たる東洋と云ふ大沙
 漠の中に於て日本は一葉の「オア
 シス」であつた。何故日本はさう
 であつたかと言ふに彼は或る不可
 思議な生活様式を有つてゐたか
 りである。

如何なる国家と云ふ永遠に
 他の師たる事は出来ぬ
 西洋は東洋に對して
 認識を缺く
 其結果は錯誤であり危険である
 如何なる国家と云ふ他國のお師

NIPPON TRADING Co.
 PIEDRAS 75

賀正
 一月一日
 日本商事
 増山豊吉

賀正 中島正夫	賀正 福岡庄太郎 在アスンシオン
賀正 横山重馬	賀正 五十嵐俊二

匠さんとして永久に続くものではない、昭支那は嘗てアジアに於ける文化の和お師匠さんだったのだが、最早審美八方面の力が枯渇してしまつた。而して日本が支那に代り東洋のお師匠さん役を担ひ責任を背負つて立つた月一は東洋に於ても社会の激動が功利化に向つて優劣争ひとして押寄せて来たのだ。然るに斯様な世の中に生活を實現せしめ得るだけの道具立てを有つ國家は東洋に於て日本である。西洋は未だに這般の事實を了解して居ないのだ。然しそれが解りぬ限り東洋内に起る出来事に対する西洋の判断は妄断であり危険性を伴ふ結果に於る。

丁 満洲国は日本の物質的進歩が亜細亞大陸に移植されるに当り日本の能力を驗する最初の実験場とも云ふべき場所だ。日露戦争は日本人をして亜細亞大陸に足を踏入れさせたのだが、今や日本は断然物質文化を行はんがために勢力拡張を企圖し、鋒芒を現はしてゐる。日本人は四方は死活に係る利害を満洲に有つてゐると言ひ、國家的見地から觀れば、確かに然るに違ひない。けれども、そのもつと深い根本的の処のものがある。それは即ち日本が満洲に於ては飛んで来ぬ、是れ正しく日本に取り

ては否應ふし踏まねばならぬ公道であるのだ。日本は東洋に於ける生命創造活動の中心であり、創造的活動場裡の拡張を求めんとする生命の衝動その物こそ、日本を無理やりに亜細亞大陸へと押遣りつゝあるのだ。満洲国は決して日本の一部を形成するに至る様な事はなほであらう。政治的併合は日本人たちの考へから遙かにかげ離れてゐる。満洲には三ヶ萬の支那人が居り、日本は七十五万人しか居りぬ。他に朝鮮人が七十五万人居るけれど、これは労働階級であつて決して創造活動力を有する日本人ではないのである。だから日本人は満洲に於て斯くの如き僅少なる数を以て何事か出来やうかと云はねばならぬ。然しそれは將來の問題だ。唯だ、然し少くも人類を以て生命の衝動がアジア大陸に向つて近代文明を押し進めるための道を切り拓く事が出来るか如何うか？ けれどもそれは今現に企てられぬものがある。もしそれが成功したならば、其恩恵によつて居る、恐らくは決大なるものがあらう。而して今正に日本は課せられたる使命に向つて之を果たすべく企圖してゐるのだ。

日本が國際聯盟の壓迫に屈するふらむと西洋が考へてゐたりすれば飛んで来ぬ、開通である。夜肉極まるリットン 聯盟調査團の構想 聯盟は日本の行動調査のためアジアに向つて一團の委員を派遣した。一行の委員長とつた人は英國のリットン卿で、御は英國政府がヒンツ族やマホメット教徒をして物質文明の恩恵に浴せしめやうと企てた場所から印度に於て嘗て總督を勤めた人だ。またフランスは自分たちが優越権を揮つてゐるアフリカ植民地に於て土民統治の経歴を有つ、クローデル將軍を代表としてリットン一行に参加せしめた。米國も非公式ではあるが、モイ將軍を代表者として参加せしめた。同將軍は、米西戦争によつて米國の領土となつたフィリピン及ホトリコ島に於て軍事方面の役を勤めた人だ。独乙はシエネー博士を任命した。同博士は旧獨領アフリカ植民地通として有名な人だ。該獨領アフリカはと云へば、もろく独乙が土人から奪つたもので、大戰の結果独乙は敵國側に取り上げられ土人の手には返されなかつた。領地だ。何れさうした経歴の人々が國際平和の調査委員たちだ。すいぶん皮肉な話ではないか。俺たちは人類中の特權階級だ。

おまへさんたちは、俺たちの跡をつけて来てはならぬ。俺たちが文明に対する権利を有するのだ。俺たちが俺たちの出来る限り文化を進めて行く事が出来るのだ。西洋は東洋に向つて相も變らずその人事を言へた義理ではあるまい。若し聯盟が自身の体面をつくらふと同時に東洋問題から手を洗ふやうに解決せぬならば却つて聯盟のためによくない。おせなら東洋が自力を以て自らを救はんとして一生懸命に立つてゐるのを、西洋が阻止する事にはなりやないのだ。

リ 著々改善の実効がある
私は妻と共に奉天、ハルビン、大連をも視察した。私は滿洲國政府側の多くの人々と会見接觸した。私の歩いた範囲内では滿洲の到る処日本の進歩的施設と支那の無能無力の番しい対照を見た。(了)

附記 本稿は旧曆十八日発行ラブレシヤ紙、日曜附録「ロトグラバー」版寫真一頁を埋めて掲げられた「ジョン・メーソン」氏の通信を全訳した内の前半だけである。後半の発表は紙面の都合によりて他日にゆづる。(時報記者)

賀正 立石 太郎

賀正 大林 多吉 在 横 浜

賀正 千原 康生 在 大 阪

賀正 田原 豊 在 長 崎

祖國電報

第百四通常議院開會

(聯合廿六日) 廿六日議院開會式に天皇陛下には陸軍様式御正装を召され第二公式函薄で午前十時廿五分宮城御出門同四十五分貴族院着御、徳川議長の御先導で便殿に入御、御先着の各皇族方に御対面、首相以下閣僚、枢府正副議長、顧問官、内閣正副議長等に拜謁仰付けられ五十一時議員最敬礼裡に式場に親臨、慶賀の勅語を賜はり直方に御退場十二時十五分貴族院御出門、慶賀はされ

勅語

朕茲ニ帝國議院開會式ヲ行ヒ貴族院及口衆議院ノ各員ニ告ク帝國ト聯盟各國トノ交際ハ益々深厚ヲ加フ朕深クコレヲ嘉ス朕ハ國務大臣ニ命ジテ昭和八年度予算案並ニ各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕ノ意ヲ体シ和衷妥協以テ協賛シテ賜サシムコトヲ望ム

衆議院勅語奉答文
恭シク陛下ニミルニ車駕親臨シテ茲ニ第六十四帝國議院開會ノ盛式ヲ

挙テサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜ヒ臣等感激ノ至リニ勝ヘス臣等慎重審議協賛ノ任ヲ賜ヒ上陛下ノ聖旨ニ對シ奉リ下國民ノ委託ニ副シム事ヲ期ス

衆議院議長 臣 秋田清誠謹誠恐謹ミテ奏ス

政友会の鉄道予算

握潰の策謀

(聯合廿五日) 財政問題の法案は今議會最重要問題の一つとして政府、政友各、保守政友の策謀に今から秘策を巡りしてゐるが、概然政府としては誤算化してゐた特別会計予算に重大問題勃発し予算法案の前途に影がかり暗影を投ずるに至り、當局を狼狽せしめてゐる。即ち衆議院に絶対多数を擁し予算協賛の鍵を握る政友会は、鉄道予算に甚だしく不満を懷き、欲道予算握潰の策動が進展し既に三百名の署名を得てゐるの事である。然して鉄道特別会計の不成立に終るか如き事あれば他の特別会計全体も不成立の虞ありかくては一般会計予算の施行上にも重大影響を及ぼすので政府は其成行を重大視し各特別会計予算の協賛手續に就て慎重考慮を巡りしてゐる。

皇太后陛下

癩患者御慰安の御歌を賜る

(聯合廿四日) 皇太后陛下には不幸なる癩患者絶滅を恩召しを以て先に御内帑金廿四万八千円を十年経過後で全国私設癩療養所に下賜せられたか陛下には常々その救療事業に御心を寄せられ去る十一月十日大宮御所に於ける月次御歌會にも癩患者を慰める御歌を賜はり陛下にも親しく御詠草を賜はつたが宮内省では此の厚き御心に恐懼これに青藤首相、山内相以下関係者に傳へるため御下賜方を頼み出で其後御許しを得たので、不宮相は廿四日前九時これを傳達した。右御歌は全国公立、私立、私立癩療養所、研究所等廿三ヶ所を初め各地方長官等に頒ち賜る由、皇太后陛下御歌

徒然の友とふりても慰めよ
行く事難き我れに代はりて
叔父宮妃殿下
逢ふ春を待ちて戀しく過ぐさなん
愛さずのみの世にありわは
高松宮妃殿下
限りなき慈の光身に受けて
亦かく樂しき世を送らうらん

賀正

兒玉貞次

賀正

羽柴哲

謹賀新年

一月一日

日本式按摩並に
鍼灸治療

山田忠重

Feliz Año Nuevo
Adolfo Maschke
Inspector General
de la Franco Argentina
Capitalización S. A.

税制財政の根本的調査委員会設置

(聯合廿八日) 政府では将来の財政五直のため廿七日閣議で取敢へず税制改正準備委員会を設置し先づ國庫の歳入に關する精密なる調査を以て其に對し時代を劃した税制の全体に亘り公正な改正を斷行する事にならば、尙財政の根本的五直しを以てんがために單なる税制のみならず、歳出方面に就いても周到なる研究を遂げ徹底的に整備改善を計るの要ありとし、明春休金明項迄には税制改正準備委員会と同様の形体の許に財政整備準備委員会を設置し各種行政機關を初め財政關係に就き根本的の調査研究を以てべく目下各方面に於て立案に着手してゐる。

陸軍の兵器改善案

(聯合廿七日) 陸軍当局では今議会の協賛を経て明年度に実施すべき兵器改善案は満洲の治安維持を目標とする駐滿部隊の充實と不可分の關係にあり、軍備の充實、警備並に近代科学と國軍の根幹に據れる劃期的な改革案だけに其の内容は注目し得るもの多し。

中島和久平 經濟研究所を設置

フーバー招聘交渉

(聯合廿九日) 中島飛行機株式會社長政友會の中島和久平は經濟困難の日本に確固たる信念を有し、この國家的感念から私財廿五万円を投じて國家經濟研究所を創設し十二月一日から既に日比谷市製菓會館に事務所を置いて調査に取り掛つたが同研究所では先づ調査として統計經濟計測經濟に關する研究を以て第一とし、伊藤、米、國等から一流の經濟學者を招聘すべく、伊藤は伯林の永井商務官の手を通じて、米國はフーバー大統領が米春大統領を退任後長期の旅行を計画してゐる事を利用して我國に歡迎したいといふ事になり、適当な方法で交渉を進める事になった。フーバーは少社時代鉱山技師として末朝、日滿支那各地を巡遊し相互に隔意なき意見の交換を行ふ事は聯盟其他國際場裡に貢獻する処大としてこの計画は財界官民各方から多大の期待をかけられてゐる。

逓信省の電報料値上

(聯合廿七日) 逓信省では一月一日より外國電報料を現在より五割方引上げる事とし廿八日官報で公布、此は内貨騰落の結果。

斎藤首相増税計画の予審終結

(聯合廿七日) 斎藤首相が非常時日本を背負つて立つに適任に非ずとなし首相を暗殺せんと計畫した京橋區築地二五區等博士今卷義雄外三名に關する殺人計畫事件は、予審事件の後を受け、自色テロ横行時代であつたため異常なシヨックを以て、今卷博士等一味は豫審を以て東京地方裁判所検事局、菊地検事は京都方面に出張、事件の捜査に努める等全力を盡して取調べにあつたが起訴後は木下予審判事の手に依つて取調べが續けられ廿七日正午漸く予審終結決定、何れも有罪となり公判部にて開附された。

深川富川町の火事

(聯合廿七日) 廿三日午前一時十分深川町富川町朝鮮人團體經營の大富市場二階から発火し同建物の外壁二層を焼いて二時半鎮火したが市場三階アパートにて寝て居た日鮮人五、世帯二七〇名は逃げ場を失ひ、死者三名、重傷者十八名、行衛不明廿二名を出した。

賀正

花井貫一

賀正

伊藤純太郎

賀正

仲里蒲全

賀正

多賀長作

バー・アスツリアス

謹賀新年

一月一日

寫真師 佐藤貞則

熱河の事態愈々重大

軍部断乎たる行動を採る筈

昭和八年(聯合廿八日)熱河北支方面の事態はサンチン會議が東北失地回復を決議し、又學良司令下に開かれた一政務委員會が北支那の國防問題に就き密議した。義勇軍に軍費、武器、彈藥を供給し積極的に滿洲國の大擾亂を期してゐるが學良は三旅を熱河に移動する等、同方面の事態は益々重大化して来た。我が軍部にもこれ等の事態を重大視し之れが対策を協議してゐるが、関東軍は呼倫貝爾方面に於ける其難題、丁文等及滿軍を討討した、更に各地方の匪賊を討伐しつゝあるが、これに完了を待つて既定方針に基き、學良の使喚する義勇軍を熱河方面より討討する断乎たる行動を採るものと見らるゝ。明春に於ける同方面の事態は重大視さる。

熊崎部隊の籠城七日間

奉天廿六日、岫巖城の熊崎部隊は、隊後に向つた鞍山上田部隊は、途中匪賊五百を撃退し廿五日早朝岫巖城に入城した。熊崎部隊は損害比較的少く戦死者一名負傷四名、然し流石に七日余りに亘り一つの敵匪に圍まれ籠城した事にて

多門の團内地に帰還

彈藥食糧も殆んど盡き將卒は憔悴してゐたが元氣旺盛である。(新京廿八日)廿日奉天發陸路内地に凱旋する多門の團長は廿八日左の如く聲明し惜別の意を表した。左の如く聲明し惜別の意を表した。今團の團は大倉を拜し思出深き滿洲を後に内地に帰還する事と云ふ。昨年四月滿洲駐屯の任を帯て來滿し、爾來十有五月各地に轉戦し、幸に大任を全うするを得たり。茲に將兵一同を代表して滿腔の謝意を表す。今や滿洲國の建設成り基礎逐日鞏固を加へつゝありと、且も前途尙幾多の難関を予期せざるべからず、これかためには實に軍民一致の努力を要する事に切なるものあり。○團將兵は情熱力の變轉に際しては大倉一下再び立つて皇軍の使命に邁進するの覚悟を有す。茲に離滿に當り、來の好意に對し深甚なる謝意を表すと共に、最寒の折柄に各位の御健康を祈る。

○團長 多門二郎

上田市立飛行場を陸軍に献納

(所沢廿八日)我國唯一の市立飛行場を有する信州上田市では向飛

行場を陸軍に献納する事になり成沢市長は所沢飛行学校を訪問し、陸軍省航空部に受納斡旋方を陳述中だつたが廿七日正式に陸軍飛行場として受納される事に決定、同飛行場は昨年十月開設延長六百米、幅員二百米、工費十万余圓の大格納庫を有し、関東地方から北越方面航空路の要路に當り且同地方は氣象状態に變化多く不時着陸場としてその價値大で、山岳地帯飛行演習に好適である。

お正月用品左の通り

著荷致しました

- 亀甲万壽油(四五〇) 日本酒
- 白鶴(二、八〇) 味の素(二、五〇)
- 永二んにやく(七、七〇) 竹の立(二、三〇)
- 浅草のり極上(十枚二〇〇) 福
- 神漬極上(二〇〇) まつたけ(二、三〇)
- 力餅(二、二〇) 数の子(三、五〇)
- 輕節(三、〇〇) 推たけ(三、五〇)
- 推たけ(袋三〇〇) 宇治茶(二、五〇)
- そば(一、〇〇) イリコ(袋二、二五)
- 干瓢(三、四〇) 昆布(三、八〇)
- 小豆(三、〇〇) 鮭(〇、八〇) 乾れんこ(三、〇〇)
- 海苔佃煮(〇、五〇)
- 餅米(わがめ) 近日中に届致します

ALMACEN DE MANUEL MURAKAMI HERNANDARIAS 1544

村上商店 元旦 賀正

市内元ナンダリアス街一五番

賀正 久慈 忠 宮崎 八郎

賀正 吉橋 好太郎 岡部 壯一

祖國近状

後天性は遺傳しふ

ダーウインの説を覆す
田中博士の新学説

遺傳学の權威、九大農学部教授田中義麿博士は遺傳学上の難問題として学界の興味と関心を集めてゐる「後天性遺傳問題」に対する新学説を樹立し名古屋で開催された日本學術界協会第八回大会席上特別講演を行ひ同博士の得た結論を要すべく学界に發表した。

後天性は遺傳するか否かといふ問題は遺傳学上の重大問題として世界の学界でも多年研究が続けられて来たものであるが、これに對して明確なる結論を手にした者は頗る稀で非常に難問題とされてゐる。田中博士は過去十六年同苦心研究の結果遂に明確な結論に到達したものである。

性遺傳説と全く相反しこれらの諸説を覆すものである。田中博士は曰く「後天性遺傳の問題については従来種々研究が行はれてゐますが、私は今回後天性のものを最も正確に解説すれば後天性は遺傳するが普通の意味における後天性は遺傳せずといふ結論に達しました。これはスベンサーやダーウインの反對にふりまが私は広く学界に訴へて御批判を願ひたいと思つてゐます。」

血液検査に依り

野球試合前に

勝負が判る

スポーツ選手の過不道其他を血液及び唾液検査で判定することが最近医学界で定説として認められんとするが、大改血液型研究所では今夏甲子園で行はれた全国中等学校優勝野球大会に出場した全国各地よりの代表チーム廿二校二百十三名の選手に就いて血液(特に唾液)検査を行つた結果、中京商業の優勢が試合前既に血液検査に依つて判明してゐた事が發表された。

の能動性の受動性に対する比率数字は一般日本人一〇・九に對し選手は一五・九である。更に之を進々決勝以上に入つた優勝八校(中京、松山、明石、熊本、長野、石川、早実、八尾)と他の十四校との比較をしてみると、能動性、活動性に於て優秀校の方が旺んであり、その率は優秀校二・三五に對してその他は一・八九の過ぎさいし血液型に於てOがたの選手が優秀校に遙かに多いの興味ある事実である。高野二校チームを通じて能動性受動性の率から見ると、最も最も旺々と断定出来るチームは長野商業(四五)次は和歌山中学(四〇)小倉商業(三五)松山商業(三五)北海中学(三五)京師師範(二六)八尾中学(二三)長野中学(二二)熊本工業(二〇)等である。商業は(一五)となつて居り最少は米子中学の(〇・四二八)である。因に直頃の日本では血液型検査が大流行で、デパートその他で求めに應じ検査をしてゐる処もある。

わしやつらい

ギ印くそ度胸うぬぼれ等々
俳優募集珍風景

華やかさ銀幕の陰にかくれた悲話。日活ではさき頃のスター脱退騒ぎの後を受けて、今度俳優の募集をしたが、来るは一日平均四五百通の履歴書締切りの日には五千通に達した。机上に積まれた履歴書を一むたり見ると、或は「タ」の筆致でさ、やがて履歴書書いたもの、さうかと思ふと「何々大学経済部卒業」と恐らくは幾度も書きなれたが故の遺筆もある。大体のところ男四人に對して女一人、その履歴書は男専門学校以上、女高等女学校卒業であるといふのも考へさせられる世相だ、是等應募者の変り種をさつてみよう。

落選して合格しても本名だけは公開しないで下さい。遺か未來のスターにあがれて申込んでゐるが、流石に家名を重んじてみたり、さうかと思ふと履歴書を公したらそれで合格したものと思ひ込んでゐるのか、月給はいくらぐらいか、特別出演料はいくらですか、くれはとギ印に近いものもある、かと思ふと履歴書に最近の撮影にふる寫眞を添付してあるのだが、名刺型の小さは寫眞の上でもうあつたればスター気取でこぼしたものを、オドク顔付で胸の辺に「バス」したいであります」と書いたボール紙をフラさげた

者、又中には大切の商賣の條件であるのを忘れて、私、寫眞よりも実物の方がいい、人でずから」と本物を持ちこんで来て面喰はせるお嬢さんもあつたか。

ところで採用標準といふのが十六才から廿六才まで、男は専門学校以上の學歷、女は女学校出で五派に日本語がしゃべれて、しかも寫眞顔が素晴らしい美人でなければならぬといふ、五十人からの男女の中で、その何人が合格の喜びに失業苦を忘れてしまへるか、スターたるまたつらいものかである。

Dr. E. BULLIVON
Bdo. de Irigoyen 1404 U.T. 23, 0279

無痛歯抜	ニペソ
セメント充填	五ペソ
金入歯	十五ペソ
金冠	十五ペソ
総入れ歯	六十五ペソ

診察時間
午前九時より
午後八時まで

内外時報

降誕祭日を休戦

ボパ西国王の命令

交戦中のボパ、パラグワイ西国王は...

軍艦をアマゾン河口に集中せよ

アマゾン河口の小河、レイシヤ...

智利大統領就任

アルツェロアレンドリ氏は...

二大金礦発見さる

北海道と岩手縣で...

佛米関係険悪

佛政府は米賦金支拂前...

ラ党領袖等訊問

陰謀事件により軍艦...

(29) 港はベル...

馬白山生きて居る...

人は嫌疑晴らす...

賀正

比嘉榮一

賀正

中村陽三

賀正

藤田正夫

賀正

和久亮

賀正

菊地銀三

賀正

武田薫

謹賀新年

一月一日

チヤカフコ市

カマエハホネス

新澤

亜国野球リーグ戦

日軍敗る

Y軍十九A
日軍十八

日軍対Y M C A軍との第一回リーグ野球戦は日曜廿五日午後四時十五分バセオコロン球場に於て挙行。

肌寒かふる好天気と亜国球界の人気者日軍の出場で観物は入タンドに溢れた。先攻せる日軍五回目に十四点を挙げ五回勝越したが六、七回に至りY軍奮起によりスコア接近戦となった。投手川村、内藤、入月の三君入り代つた日軍は最後に川村君再びプレートに立つた奮戦大いに努める処あつたが戦運拙く十九A対十八、一失Aの差で惜敗した。終戦七時四十分、球審テグス。

- 一パンメ軍面
- | | |
|---------------|----------|
| Hosfelo (RF) | 内藤 (SS) |
| Moghiano (3B) | 永 (LF) |
| Villate (SS) | 森 (CF) |
| Diloungo (2B) | 中村 (1B) |
| Dioz (LF) | 池月 (3B) |
| Destifano (P) | 小入川 (RF) |
| Gimenz (1B) | 藤村 (RF) |
| Denata (CF) | 藤村 (RF) |
| Ruduischy (C) | 藤村 (RF) |

戦の跡

十九A対十八といふ大きなスコアで而も三時間半と云ふトテツも長く時間の試合であつた。

日軍は最初から緊張味に缺け、立ち廻つた三選手はあつてもチーム全体にみまざる結果力も統制も更にぶかつた。だから折角リードして来てゐるが七回目に敵に完全に盛返へされ、最後の九回目に失Aの差で捨てやられたのは望まらざるの帰結であつた様に思ふ。チーム全体が何故引締らなかつたか、原因は色々あるだらう。当日の正投手を承つた内藤君が前日「パンツルセ」に祟られ肩痛を害してゐた事や新捕手として期待されてゐた森君が肩をいためて捕手が勤まらずに退いた事などは日軍に収つて予期されなかつた故障も、もさふ事からチーム全体にゆるみを生じたやうである。併し少くもリードしてゐた五回目に於ても引締まりを失はずればよかつたのだ。インニングの替り目打者がボックスに立つたが、餘り優長すぎ有永捕手の送球もあまりに暇取りすぎた。入月監督ふり中村主将ふりがその辺に氣をつけチーム全体を引締めて貰ひたかつた。日軍の準備で目立つたのは外野手がフライを巧に取

つたがゴロのこしかけが拙であつた事、大概のゴロは皆取り損ね横にハッパたりトンネルしたり、それがタイムリエラーと云つてスコアを大きくした。攻撃ではバントの濫用で、あんふにスコアの大きい試合に於てバントは無用の長物で、スクイズも三塁の走者が敏捷であるか否いかを見届けた上決行すべきだつた。

日軍十五朝日十四

日軍十五朝日十四の試合は去る廿五日午後五時三十分バセオコロン球場にて挙行し朝日善戦したるも十五対十四のスコアを以て惜敗。

- | | |
|-----------------|----------|
| 軍一 | 朝日 |
| Balechi (CF) | 佐林 (1B) |
| Torres (2B) | 武知 (SS) |
| Pickett (1B) | 岡田 (C) |
| Seeburg (SS-P) | 藤山 (2B) |
| Michell (LF) | 八木 (3B) |
| Locati (3B) | 八木 (CF) |
| E. Theule (P-C) | 福原 (RF) |
| C. Theule (C) | 松本山 (RF) |
| Perdiguero (SS) | 船木 (RF) |
| Froelich (RF) | 船木 (RF) |

第二回戦日軍朝日 出場日割

二月廿一日 日本
二月廿二日 日軍
二月廿三日 朝日
二月廿四日 日本
二月廿五日 朝日
二月廿六日 日本
二月廿七日 朝日
二月廿八日 日本
二月廿九日 朝日
二月三十日 日本

FELIZ AÑO
1933 NUEVO 1933
BILLARES
BRUNSWICK
Material preferido
en las casas de
primera categoria
VENTA A PLAZOS
SIN RECARGO DE PRECIOS
Cangallo 1818
B. Aires

一月廿二日	朝日	Y M C A 球場
廿九日	朝日	Y M C A
二月五日	日本	Y M C A
十日	朝日	Y M C A
十五日	日本	Y M C A
廿二日	朝日	Y M C A
廿九日	朝日	Y M C A
三月五日	日本	Y M C A
十日	朝日	Y M C A
十五日	日本	Y M C A
廿二日	朝日	Y M C A
廿九日	朝日	Y M C A
三月五日	日本	Y M C A
十日	朝日	Y M C A
十五日	日本	Y M C A
廿二日	朝日	Y M C A
廿九日	朝日	Y M C A

加賀正
坪田静仁
在モンテビデオ

加賀正
宮本好

加賀正
パンパス研究会

雑報

日本小學校
新年拜賀式

日本小學校は元旦十時より日會講堂に於て新年拜賀式を挙行するに付一般在留同胞の参列を希望する由

日會役員會

日會の年末役員會は旧臘廿六日夜同會々館に於て開催され、大日三報告のみにて重要議事なく十一時散會した。出席者 塩天宮田有水、木村、坂本大川、本間、中田、中田正人氏追悼會

中田正人氏追悼會

旧臘廿四日夜北川隆氏宅に於て知人相寄り不慮の疾を遂げた故中田正人氏の追悼會を催した

銀、内登久一氏死亡

慶島縣人銀、内登久一氏は旧臘廿四日發病廿六日死に翌廿七ヨリヤカリタ墓地に埋葬された

昭和館宿料値下げ

コレエンテス街二五二九番昭和館は本月より下宿料を月五拾のソ

に値下げし昼は洋食、夜は和食を供する由

偽せ飛行士
ハ國から追放さる

前号にて田中利夫(王谷敏雄は誤)ハコリアイ國飛行隊に入隊する旨、後イカサマ者ある事判明、二十四日彼はハ國政府より放逐、コレエンテスに於て送還された。田中は本名福太郎(世才滋賀縣人)体重七十八キ、肥満せる好男子に見える男、二年前ハ國より無旅券で侵入、ハ國武官外モロン在にて邦人キントの運轉手としてゐた。

亞國飛行學校へ入隊するとか、歸國するとか口実に領事館より国籍証明書を添付し詐取せんとしたが之を看破られ、ハ國に於て行衛と時、最近ハ國に於て現はし、偶々ハ國交戦中、利用し、波松陸軍飛行隊隊員の飛行中尉だつと、囂れ込み、甘言を吸はせ、たが全く詐欺行為と判明、前記の處分を受けけるに至つたものである。

尚ほ彼はアスンシオン市に於て福岡庄太郎氏の名を騙り、諸所の店より金品を詐取せる事實

人事往來

△山崎公使、旧臘廿九日コロンバより歸武
△本岡敏雄氏、サンチアゴアル・エス・コロ州より前週帰武
△寺本芳雄氏、出武中、廿九日、ミシオネスに於て出武

御通知

来る一月一日午前十時より在留日本人會講堂に於て在留日本小學校新年拜賀式を挙行可致候間、御出席相成被下度候
十二月廿七日
在留日本小學校
同胞各位

八日のリーグ戦

日本対コレヒアレス
八日午後四時より
オアラサニタリアス球場にて

社告 来る七日日本紙休刊致します。要然丁時報社

原野豊君!

日本から手紙が着いて居るから至急住所を御通知ありたいし
服部定雄

Crema "ASCOT"
アスコット印
髯剃クリーム
小瓶 一ペソ五十五仙
中瓶 ニペソ五十五仙
大瓶 三ペソ五十五仙
指定販賣人 加藤林
At. de Maqna 1084
U. I. 381-6858

Dr. A. DICOVSKY
淋病梅毒生殖障害
夜間診療
Almirante Brown 1347
ホーカ方面に於て最も責任を重し、信用ある診療院です。
治療代割引回数券を發行します。
診察時間
午後五時—十時

會葬御礼

大登久一儀、氣喪中、養生叶はず、一月廿六日午前十一時死亡候、翌廿七日午前十時ヤカリタ墓地に埋葬の儀、執行候間、此段生前、御知照に御通知申上候。葬儀の際、は遠路、御會葬被下且つ多大の香典、香花を賜り、御厚情の程有難く、不取敢紙上、以て御礼申述候。敬具
昭和七年十二月廿八日

專 銀、内、サ、イ
及人 村上正雄
總代 山本榮四郎
大藤栄次郎

著発日取
月刊書入巻書出
らぶら丸
大阪高船株式会社
ブエンスアイレス支店

本年も
相変らず



明けまして
お目出たう

JOSE TOMISAKI & Hno.

ESCRITORIO: MAGALLANES 1230 U.T. 21 BARR. 2628
CABLE ADDRESS: TOMISAKI

VENTA POR MAYOR ESTAMPILLA MARCA "ABANICO"

ALMACEN DE COMESTIBLES Y BEBIDAS.

HERNANDARIAS 1544 U.T. 21 BARR. 1736

BAZAR-MENAJE: ALVARADO 1173

CARNICERIA N.º 1. ALVARADO 1177

CARNICERIA N.º 2. HERNANDARIAS 1538

富崎商店

大阪商船株式會社

指定御用達

扇印割引切手販賣部
白米雜穀日用食料品
牛豚肉販賣腸詰類二切
酒類各種
雜貨小賣部
船舶御用高

市内 エルナンダリアス街 一五〇四
電話 二一(ハラツカス) 一七三六
事務所
市内 マカシヤネ又街 一二三〇
電話 二一(ハラツカス) 二六二八
電信番号 トミサキ

謹賀新年

一月元旦

山崎次郎

謹賀新年

一月元旦

宮腰千葉太

謹賀新年

一月元旦

芝崎彌額爾

賀正

一月

元旦

日本野球園

謹賀新年

昭和八年一月元旦

大垣俊雄	廣瀨寛治	内藤鶴雄	北川稔	川北平太郎	上桶俊一
田中菊次	高橋坂衛	知念三浦 <small>ロサリオ市</small>	善野貞雄	桐原茂雄	本多次郎
三島定志	石川芳範	河野通岱	玉城新次郎 <small>サルタ市</small>	新庄信三郎	羽生兄弟

在 亞 日本人會	日本小學校	在 亞 農業研究會	日本庭球俱樂部	在 亞 蔬菜園藝 同業組合	在 亞 日本人園藝會
-------------	-------	--------------	---------	---------------------	---------------

謹賀新年

昭和八年一月元旦

伊藤清藏	本間鉄雄	門田雄吉	栗谷信	山本喜平	太田千代繁 小林義彦
山本栄治郎	原田静雄	西澤正平	脇永鉄彌	内藤晃	上田平作
日高喜作	河野慶治	福田勝市	東利作	岡田領治	野村栄次郎

紅白俱樂部	在重日本人 自動車運轉手協会	日本ジュニオール	少年蹴球團	在ミシオネス 北進會	オンブール會
-------	-------------------	----------	-------	---------------	--------

謹賀新年

昭 和 八 年 一 月 元 旦

村上四郎	松井完爾	門村真一	佐藤貞次	仲新次郎	後藤貞彦
原田四郎	石井白帆 <small>口サリオ市</small>	上村清一 <small>口サリオ市</small>	西久保喜一 <small>口サリオ市</small>	中間武右衛門	岩住玄伍
興村禎吉	星野留造	横尾一	杉本清次郎	請村常次郎	崎間麗徳
村山豊	喜屋武哲雄	渡辺安治	吉田富	梶本儀平	坂本新吾

CAFE TOKIO

M.K. MIHURA Y Cia

CASA MATRIZ MERCEDES F.C.O.

SUCURSAL JUNIN F.C.P.

加賀正

正月元旦

カフェ・東京

本店メルセーデス市

金子良平

支店フニン市

三浦興吉

JAPAN BAR

CAFE Y DE MINWA HIGA BILLARES

J.B. ALBERDI 90, SALTA, F.C.C.N.A.

加賀正

昭和八年元旦

サルタ市

ジャパン・バー

比嘉民和

CAFE JAPON

S. Gerónimo 2272
SANTA FE

賀正

昭和八年一月一日

サンタフェ市

カフェ「ハボン」

葛原獅子男
比嘉盛
勝連樽吉

CAFE JAPON

B^{me} Mitre 283
SALTA F.C.C.N.A.

謹賀新年

昭和八年一月元旦

サルタ市

カフェ「ハボン」

前橋藤吉
島田要

CAFE

POSADAS

TOKIO

(MISIONES)

賀正

昭和八年元旦

ホサダ市

カフェ「東京」

山口喜代志
全 全 全 全
全 實之助
全 六郎

新年

昭和八年元旦

謹賀

コルドバ州

ベル・グイージエ

野原蒲一郎

知念福英

CAFE TOKIO

DE HIRAI HNOS.

SANTA FE

正賀

サンタフェ市

カフエ東京(創立一九二四年)

平井庄六

勝次

本支店
サンマルティン街 二二三四
サンバタビア街 三〇〇〇
サンマルティン街 二四四〇

J. ONUMI

Importador de Articulos Generales del Japon

Calle Rivadavia 484, CORDOBA

賀正

昭和八年正月元旦

コルドバ市

大西佐一郎

TINTORERIA
"GRAN JUD"

BRASIL 945 U.T. 238.0. 3235

吉
田
仁
吉

染色店「グラン・スード」

正
月
元
旦

加
賀
正

TINTORERIA
BELGRANO

CASA MATRIZ RIVADAVIA 11336

U.T. 64 Liniers 619

SUC. Nº 2 RAMOS MEJIA F.C.O.

BOLIVAR 85

SUC. Nº 3 ARTES 61 HAEDO F.C.O.

U.T. 69 Haedo 112

土
井
兄
弟

正
月
元
旦

加
賀
正

TINTORERIA
JAPONESA

DE

EIJIN AZAMA

MORENO 635 AZUL, F.C.S.

安
座
間
榮
仁

染色店「ハポネーサ」

ア
ス
ト
ル
市
正
月
元
旦

加
賀
正

CAFE "FUJI"

CASA MATRIZ

RIVADAVIA 231, CORDOBA F.L.A.

SUL. CAFE BAR "FUJI"

SAN MARTIN 105, VILLA MARIA F.C.C.A.

支店 高
原
市
次
本
店
山
口
熊
末
吉
喜
支店 高
原
市
次
本
店
山
口
熊
末
吉
喜
支店 高
原
市
次
本
店
山
口
熊
末
吉
喜

本
店
コ
ル
ド
バ
市

加
賀
正

CAFE Y CERVECERIA
 LA "JATUMA"
 Graf. Hornos 54 U.T. 3, 0526

賀正
 一月元旦

加竹久有
 藤内松水
 吉武純武
 隆義雄二

FELIZ AÑO
 1933 NUEVO 1933
 JAPAN BAR
 25 de MAYO 427-37 U.T. 31, 0675

ジャパンバー

新垣徳衛
 大城永蒲

市内ベネディクション街四二七
 電話三二一(レディーロー)〇六七五

恭賀新年
 一月元旦

御下宿

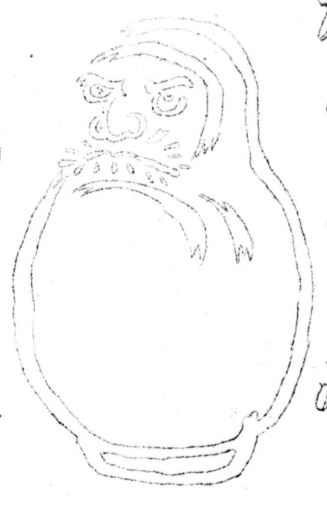
末廣館

尾崎幸千代

市内パトリシオス街一九
 電話二二一(フェルデシ)五七三五

恭賀新年
 一月元旦

だるま亭



松田清市

市内カヤコフ街七七〇
 電話三三三(アーニベア)三三三

TINTORERIA
 "TOKIO"
 EN BELGRANO
 MENDOZA 2450 U.T. (52) 2819

加賀正
 昭和八年元旦
 岩尾朝平
 平田綱吉

TINTORERIA
 "SAITO"
 RAMON L. FALCON 2386
 U.T. 63 Volta 0738

加賀正
 昭和八年元旦
 洗濯店「齊藤」
 齊藤彦藏

FELIZ AÑO
 1933 NUEVO 1933

BAR Y RESTAURANT
 ASTURIAS

Y
 BUENOS AIRES
 CORTON Y GOMEZ HNOS

25 de Mayo 299
 esq. Sarmiento

U.T. (33) 3414, 1698.

B. Aires

TINTORERIA
 "JAPONESA"
 DE
 JULIO M. MIYATA
 PAMPA 2420 U.T. (73) 3560

加賀正
 元旦
 宮田政市

TINTORERIA
"SAGA"

DE K. KITADJIMA

MEXICO 1424 U.T. 38 Mayo 1259

北
島
覺
逸

洗濯店「佐賀」

元旦

加賀正

ALMACEN
Y BAZAR

DE C. NAKAGAWA

SUAREZ 1300 U.T. 21, 0869

中
川
商
店

アルモン兼ハサル

元旦

加賀正

TINTORERIA
"JAPONES"

DE K. ISHIKAWA
CORRUENTES

石
川
亀
下

染色店「ハポネス」

コリエンテス市

元旦

加賀正

FABRICA
DE MUEBLES

DE BAMBU

DE IKUJI SAEKI

COCHABAMBA 1300

佐
伯
亥
九
二

竹細工製造販賣

元旦

加賀正

TINTORERIA
 "YOKOHAMA"
 DE
 C. SUGAWARA
 MAIPU 683, U.T. 31 Retiro 2168
 B. AIRES

賀正
 癸酉元旦
 洋服帽子クリーニング及修繕
 菅原長吉

TINTORERIA
 LA HIGIENICA
 DE
 K. HONDE & H^{nos}
 MAIPU 856, U.T. 31 Retiro 0344
 B. A^s.

賀正
 癸酉元旦
 本出嘉太郎
 全小市

謹賀新年
 癸酉元旦

御料理 御旅館
 昭和館
 杉本春松
 市内コリエントス街二五二九
 電話 四七(クーヨ)一八七六三

TINTORERIA
 "NUEVA TOKYO"
 DE Y. FUKATA
 AYACUCHO 437, U.T. 47, 7226
 B. A^s.

賀正
 癸酉元旦
 染色店「アエワ」東京
 深田八重郎

TINTORERIA
"ELYOKOHAMA"

TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO

BMC MITRE 2511 D.T. 47.7159

TEL. 111 111 111

賀正

癸酉元旦

染濯店「横浜」

上久保 文吉

CAFE "SATUMA"

DE KUROKAWA HND

CASA PRINCIPAL

RECONQUISTA 424, D.T. 1311 2896

SUCURSAL

AV. L.N. ALEM 316-22 D.T. 1311 1871

賀正

癸酉元旦

カフェ「さつま」

黒川 禎助
黒川 義盛

喪中に付き

年賀の礼を欠く

大河 榮一

喪中に付き

年末年始の礼を欠く

小那 霸全吉

“EL NORTE”

LAVADO Y PLANCHADO

PARAGUAY 1328

U.T. 44 JUNCAL 5064

洗濯店

「エルノルテ」

谷本兼吉

謹賀新年 一月元旦 昭和八年

FLORERIA
LA JAPONESA
DE K. SATO

佐藤京一

Av. LA PLATA
787
U.T. (60) 5499

CRADEROS
WHITE 55
MORON F.C.O.

とうふ・こんにやく

製造販賣

新屋敷商店

市内カリフォルニア街二八四

DROGUERIA
EL SOL DE MAYO

DE BENITO CASTORO

CASA FUNDADA EN 1914

PORTELA 560/4

U.T. (67) 7166

品質優良なる

染色洗濯用品

硫酸・アミン染料

アンモニアその他一切

A·M·A

AGRUPACION MEDICA
ANTIVENERICA

LAVALLE 310 esq 25 de MAYO

淋病

短期根治確實

梅毒

科学的最新療法

診察時間

午前十時—十時

午後三時—九時

EL TOKIO

TINTORERIA Y TALLER DE SOMBREROS

DE J. KAMIOKE

INDEPENDENCIA 3693

U.T. 45 Loria 1365

染色店「東京」

上桶甚太郎

日一月一年新賀謹年八和昭

HIGIENICA

TINTORERIA JAPONESA

DE T. UCHIDA

C. PELLEGRINO 747 U.T. (41) 5520

内田貴像

TINTORERIA BELGRANO

MONROE 2937, U.T. (52) 3981

花本保

P. ANTONINI

Prof. ARGENTINO

TANGO, FOX TROT, VALS,
RANCIERA, PASO DOBLE Y RUMBA
A LA ULTIMA MODA. DE 10 A 24

師匠
アントニニ
「ハイレ」教授

SARMIENTO 820, B. AIRES

BAÑOS

PILETA DE NATACION

BELGRANO 1038

游泳槽
も有ります
御入浴

TINTORERIA
 "JAPON"
 DE G. TAKEMURA
 SANTA FE 3600 esq. ARAOS
 U.T. 71 Palermo 6589

竹
村
銀
次
郎

洗濯店「ハボン」

旦元年新賀謹 酉癸

TINTORERIA
 JAPONESA

SAN JUAN 970

本
田
儀
平
治
市内サンファン街九七〇

ら
む
す
め

流行の先端

装身具類
ファンタシアス

本
村
政
太
郎
市内スイパッチャ街三五七
電話三五〇リベルタドレ三五六五

日本送金取扱

日本国内何れの地へお
と金額の多少に拘らず
送金御取扱ひ致します

インテルナシオナル
デ・ヴィア・ヘス商会

SAN MARTIN 56, B. A. S.
 U.T. 33 Av. 7476, 8912

家
屋
建
築

家具製造

修理一切

大工指物師

山
本
玄

ITUZAINGO 634

TINTORERIA
 “ASAJI”
 DE C. OSHIRO
 TUCUMAN 1617
 U.T. 38 Mayo 2316

洗濯店
 朝日

大城朝孝

旦元年新賀謹酉癸

TINTORERIA
 “KIOTO”
 DE S. WATANABE

渡辺四郎

LAVALLE 2047
 U.T. 47, 2137 B. AIRES

GRAN TALLER
 “EL ASAHI”
 CHARCAS 1873 U.T. 44, 4366

宮園新之助

高等御下宿

大迫テレサ

市内カセロス街八四三

◎下宿料一ヶ月六十ペソ

CLINICA MEDICA
 CANGALLO
 CANGALLO 1542
 Atendida personalmente por su director
 Dr. A. CODEL

各科専門

系統
 腎臟
 心臟
 婦人病
 淋病
 梅毒
 胃腸
 肺

CAFE JAPONES

DE
M. NIHIZAWA
SANTA FE F.C.C.A.

賀正

昭和八年元旦

サンタフェ市

カフェ「ハポネス」

新澤盛吉

FELIZ AÑO

1933 NUEVO 1933

RESTAURANT
JAPONES

DE
LUIS S. YAMAGUSHI

CALLE RIVADAVA 484
U.T. 6526

CORDOBA
F.C.C.A.

謹賀新年

昭和八年元旦

裁縫師

佐伯克太郎

市内コチヤバンバ街一三〇。

CAFE JAPONES

DE B. IKEY

VENADO TUERTO F.C.C.A.

謹賀新年

一月一日

コルドバ州ウエチード・ツェルト
カフェ「ハポネス」

伊計武太

CONFITERIA Y PASTELERIA

LA JAPONESA

CALLE URQUIZA 2246

ROSARIO

謹賀新年

昭和八年一月一日

ロサリオ市

コンフィテリア・ラ・ホネサ

石井兼利

CAFE YOKOHAMA

CASA MATRIZ SANTA FE 1172

SUC. CORRIENTES

ESQ. Av. PELLEGRINI

ROSARIO

賀正

昭和八年一月一日

カフェ「横浜」

小園正次

中金庄

狩集

清成郎

RESTAURANT

"SAKURA"

DE

M. MIYAHARA

SARMIENTO 28, CORDOBA

賀正

正月元旦

コルドバ市

レストラン「さくら」

宮原基

CAFE TOKIO

DE Z. NAKAMA

DOLORES F.C.S.

謹賀新年

正月元旦

ドローレス市

カフェ「東京」

中間善衛門

CAFE JAPONES

SAN MARTIN 138
CORDOBA

賀 元 正
旦

大 仲 儀 比
城 曾 部 嘉
德 根 文 德
正 實 雄 榮

Feliz Año
1933 Nuevo 1933

CAFE
SAN MARTIN

S. SAKAMOTO Y CIA
JUNNY CORDORA - CORRIENTES

寺 坂 全 寺 全
田 本 田 田
秀 俊 義 義
吉 一 雄 雄
サ リ 一 一

CAFE NIPONES

LAPRIDA 47
TUCUMAN F.C.C.A.

賀 元 正
旦

伊 比 松 森
東 嘉 浦 重
金 和 道 熊
五 義 政 左
郎 義 政 衛
門

CAFE TOKIO

LAS HERAS Y SALTA
TUCUMAN F.C.C.A.

加 賀 正
正 月 元 旦
ツクマン市
カフエ 東京
小 牧 齋 造

ALMACEN
"NISHISAKA"^{DA}

謹
賀
正
新年

日用食料品

味噌・醬油・漬物製造販賣

西坂貫太商店

市内アウストラリア街一〇一
電話二一(ハラス)二九一五

CASA
"JAPONESA"
BAZAR Y ARTE
DE FUSHIMI HNOS
Av. COLON 46 U.T. 4787
CORDOBA F.C.C.A.

賀
正

コルドバ市
元旦

伏伏伏
見見見
義八秀
雄郎次

LECHERIA
"LAS BOLSAS"^{DA}
DE
TATSUJI MORIMOTO
L.N. ALEM 312

賀
正

元旦

レチエリア「ラス・ボルス」

森本辰次

市内レアンドマンアレン街三二

CAFE
"JOL NACIENTE"^{DA}
DE
MATUMOTO HNOS
SAN LUIS 1122, ROSARIO

賀
正

ロサリオ市

牧松松
岡本本
末秀辰
松喜平

TINTORERIA
 "TOKIO"
 DE
 M. SHIRA
 SALTA 2150, ROSARIO

染色店「東京」
 志伊良松
 賀正

CAFE TOKIO

25 DE MAYO 14-22
 TUCUMAN F.C.C.A.

昭和八年正月元旦
 トクマン市「東京」
 カフエー
 宮小吉
 本國崎
 嶺興
 肇雄吉
 賀正

1933 Feliz Año Nuevo 1933

SIERRA DE CORDOBA

HOTEL "PLAZA"

DE

JUAN KAWABATA

QUINTA JAPONESA

川端高

UNQUILLO

F.C.C.C

フルドバ州
 ウンキージョ

CAFE YOKOHAMA

DE
UEHARA H^{MS}
RIVERA INDARTE 23
CORDOBA

加賀正

昭和八年元旦

ヨコバ市

カフェ「横浜」

上原兄弟

CAFE TOKIO

DE
MIYASATO Y UEHARA
S. GERONIMO 14-7
CORDOBA

加賀正

昭和八年元旦

上宮里盛善
原清正

CAFE TOKIO

JUJUY F.C.C.N.A.

加賀正

正月元旦

フナイ市

カフェ「東京」

比嘉昌亀
安里永行

CAFE "TOKIO"

DE
EIJI NAKAMA
TANDIL F.C.S.

賀正

昭和八年一月一日
タンデイル市
カフェ「東京」
中間栄二

CAFE NIPONES

DE
T. TSURU
AZUL F.C.S.

賀正

昭和八年一月一日
アスール市
カフェ「ニッポネス」
全 鶴
辰 辰
馬 次

CAFE JAPONES

DE MATSUYAMA Y SHOJI
PARANA E. RIOS

賀正

松山嘉次郎
庄司善右衛門
CASA MATRIZ
URQUIZA
519

パラナ市
カフェ「ハネネス」
昭和八年正月元旦

SUCURSAL
25 DE MAYO
64

RESTAURANT
"YOKOHAMA"
 DE
 Z. NAKAGANEKU
 CORRIENTES

昭和八年正月元旦
 コリエンテス市
 レストラン「横浜」
 仲兼久前和

賀
 正

ALMACEN
CASA ORU
 CORRIENTES

昭和八年
 コリエンテス市
 アルマセン「カサ」とリ
 津曲諦二

賀
 正
 正月元旦

CAFE "TOKIO"

BELL VILLE
 PROV. DE CORDOBA

昭和八年
 正月元旦
 ベル・ヴィレッジ市
 カフェ「東京」
 中村米助
 山口末吉

賀
 正

FELIZ AÑO NUEVO

~ 1933 ~

LA FRANCO ARGENTINA

CAPITALIZACION

~ SOCIEDAD ANONIMA ~

CALLE CANGALLO 666, B. AIRES

U.T. 37 Rivadavia 7680, 7681, 7682.

FUNDADA EN 1896

GARANTIAS: m\$ 18,000,000



謹賀新年

本社は在亜日本人諸賢の御最良に預り益々信用を深め債券應募者日に増加致居候段誠に光栄至極に存じ深く感謝致居候。

茲に一九三三年の新年を迎ふるに當り在亜日本人諸賢の御發展を祈り併せて今後益々御愛顧の程俚に御願申上候。

尚本社は社員宮本好氏を日本人係として常置致居る外ロサリオ、フォルダバ、サンタフェ、トクミン各地に出張所を設け、地方在住日本人の御便宜を計り申居候。

ラ・フランコ・アルヘンティナ債券株式會社

CORREO ARGENTINO
Tarifa Reducida
Concesion 718

光 報 時 亞
DUN
Argentine
Republic

亞爾然丁時報
同人

亞爾然丁時報
USPAINIA 981
U.T. 23 B. Orden 7051
發行人 水野 勉